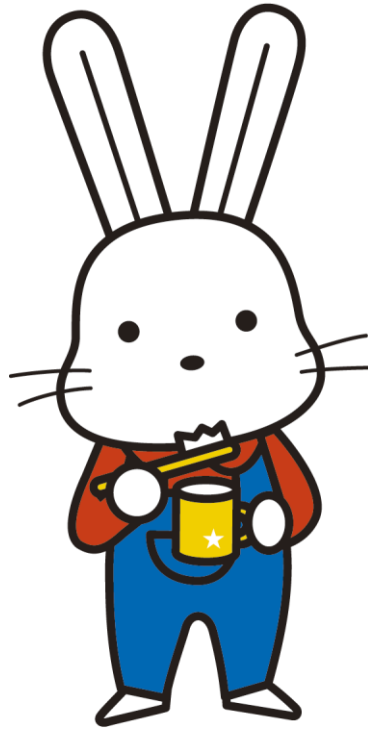


高齢者・障がい児者施設における  
歯科保健に関する実態調査報告書  
2021



令和4年3月

福島市歯と口腔の健康づくり推進委員会  
福島市



# 目 次

<b>I 調査の概要</b>	… 1
1 調査目的	… 2
2 調査概要	… 2
3 報告書の見方	… 3
<b>II 高齢者介護施設の結果</b>	… 5
1 利用者の年齢区分	… 6
2 歯や口腔の健康管理に関する状況	
（1）利用者の歯科検診や口腔ケア等についての歯科医療従事者との連携について	… 6
（2）（1）の連携をしていない理由について	… 7
（3）利用者の歯や口腔の管理状況について	… 8
（4）利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動について	…17
3 施設において、歯科保健活動を進めていく上で課題となること	…18
4 利用者の歯や口腔の健康のため、専門職に望むこと	…20
5 コロナ禍により、口腔ケア等について状況が変化した点、苦労している点等について	…22
<b>III 障がい児者福祉施設の結果</b>	…25
1 利用者の年齢区分	…26
2 歯や口腔の健康管理に関する状況	
（1）利用者の歯科検診や口腔ケア等についての歯科医療従事者との連携について	…26
（2）（1）の連携をしていない理由について	…27
（3）利用者の歯や口腔の管理状況について	…28
（4）利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動について	…36
3 施設において、歯科保健活動を進めていく上で課題となること	…37
4 利用者の歯や口腔の健康のため、専門職に望むこと	…39
5 コロナ禍により、口腔ケア等について状況が変化した点、苦労している点等について	…41
<b>IV 資料</b>	…43



# I 調査の概要

## 1 調査目的

本市において、高齢者介護施設と障がい児者福祉施設での歯やお口の健康管理について実態を把握し、各施設と利用者、またはその家族に対する健康づくりに関する支援のニーズを調査・分析することを目的とし、本調査を実施しました。

## 2 調査概要

	高齢者介護施設	障がい児者福祉施設
対 象	令和3年1月1日現在、介護保険を利用する福島市指定事業所	令和3年1月1日現在、福島市に住所のある施設
対 象 施 設 数	217施設	139施設
期 間	令和3年2月22日～3月22日	令和3年2月1日～3月1日
方 法	郵送または電子メールにて、施設へアンケート調査票を配付・回収	
回 答 者	施設の管理的立場又は、入所者の健康管理に携わる立場の方	

### 高齢者介護施設 回答率

	調査対象 (配付数)	回答 施設数	回答率
全施設	213	132	62.0%
入所施設	79	49	62.0%
通所施設	134	83	61.9%

- ・通所4件除外  
内 1件 利用者なしのため  
3件 調査開始時に休止中

### 障がい児者福祉施設 回答率

	調査対象 (配付数)	回答 施設数	回答率
全施設	137	63	46.0%
入所施設	38	10	26.3%
入所	7	4	57.1%
GH	31	6	19.4%
通所施設	99	53	53.5%

- ・通所2件除外  
内 1件 利用者なしのため  
1件 施設重複のため

### 3 報告書の見方

- (1) 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対するそれぞれの回答数の割合について、小数点第2位以下を四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析分、グラフにおいても反映しています。
- (2) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- (4) その他等の記載回答について、原文の意味を損なわない範囲で一部修正し、記載してあります。
- (5) その他等の記載回答について、回答の選択肢と同じものを示すものも見られますが、回答者の意思を尊重し、その他回答として集計しています。
- (6) その他等、自由記載の内容は重複した内容を抜粋して記載してあります。
- (7) 障がい児者施設について、入所施設の内、共同生活援助事業所いわゆるグループホームの利用者は通所施設または入所支援事業所の利用者と重なっています。そのため、入所施設を下記のように分けて集計し、グループホーム利用者は通所施設利用者の家庭での生活の様子を把握するための参考値としました。なお、この報告書ではグループホームをGHと表記しています。

#### 施設の区分

区 分		施設数	対象サービス種類
入 所 施 設	入 所	7	・施設入所支援事業所 ・障害児入所支援施設
	G H	31	・共同生活援助事業所





## Ⅱ 高齢者介護施設の結果

## 1 利用者の年齢区分

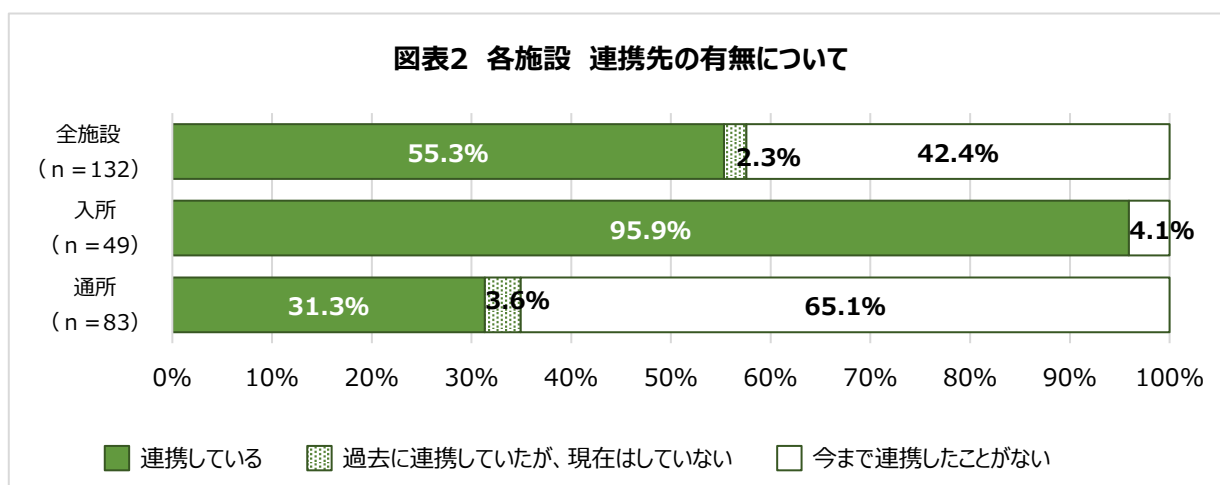
図表1 施設利用者数 単位：上段人数（人） 下段割合（%）

	回答施設数	利用者総数	18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上
全施設	132	7,685	1	115	7,569
			0.01	1.50	98.49
入所施設	49	2,446	0	43	2,403
			0.0	1.76	98.24
通所施設	83	5,239	1	72	5,166
			0.02	1.37	98.61

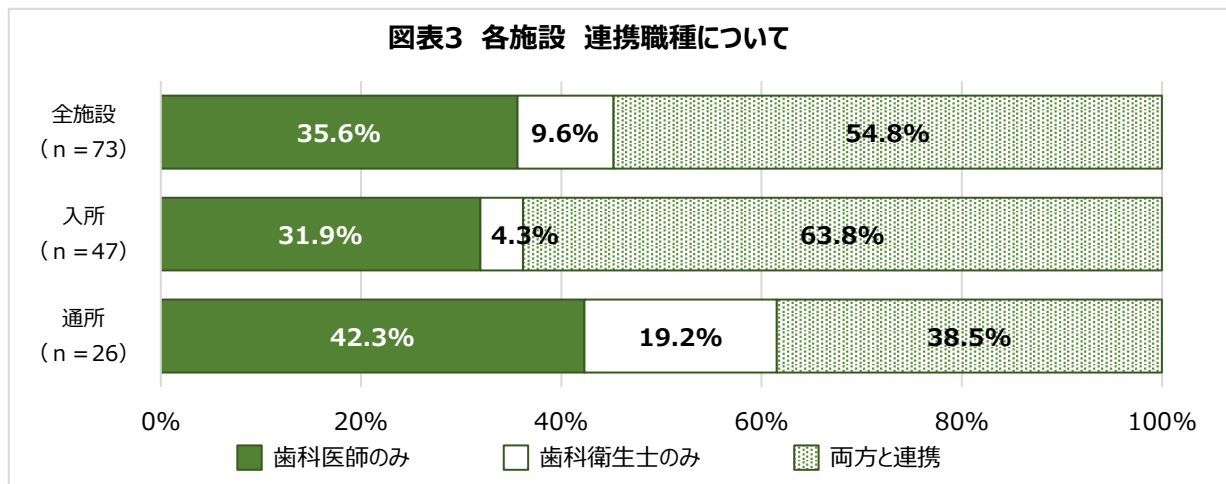
## 2 歯や口腔の健康管理に関する状況

(1) 利用者の歯科検診や口腔ケア等についての歯科医療従事者との連携について

連携について、入所施設は「連携している（95.9%）」、通所施設は「今まで連携したことがない（65.1%）」が一番多いです。

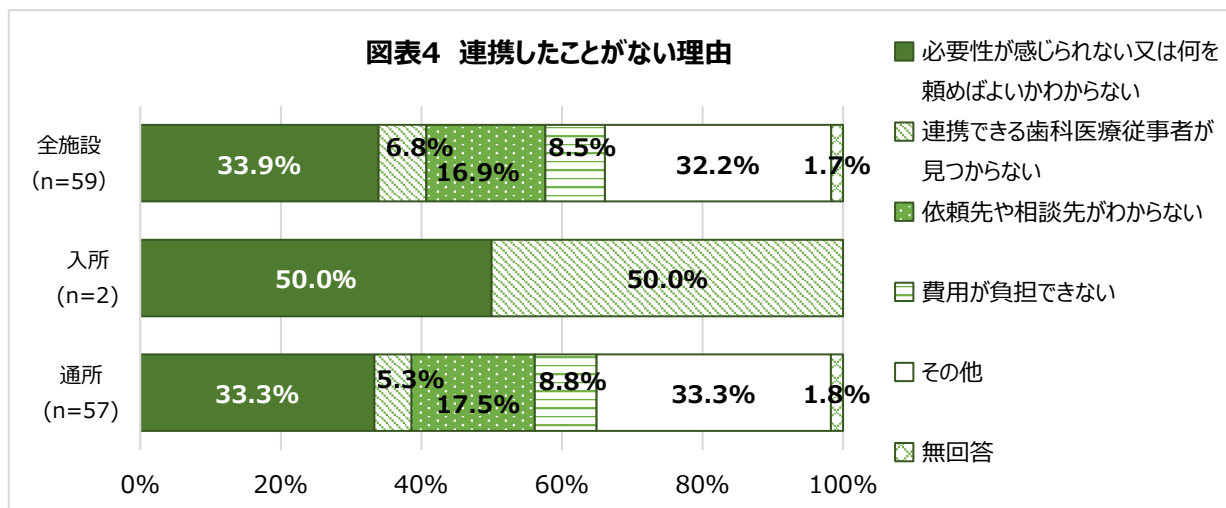


連携職種については、「連携している」と答えのうち、入所施設は「両方と連携（63.8%）」、通所施設については、「歯科医師のみ（42.3%）」が一番多いです。



(2) (1) の連携をしていない理由について

「連携していない」と答えた施設のうち、入所施設は「必要性を感じられない又は何を頼めばよいかわからない（50.0%）」「連携できる歯科医療従事者が見つからない（50.0%）」、通所施設は「必要性を感じられない又は何を頼めばよいかわからない(33.3%)」「その他(33.3%)」が多いです。通所施設の「その他」の内容に関しては「家族又は自分で」の割合が高いです。



【その他 記載内容】 通所施設のみ回答あり

家族 又は 自分で	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所事業所のため、口腔内の特変に気付いた際はご家族に報告し、歯科受診をすすめている。</li> <li>・ご家族様やケアマネージャーに連携して頂いているため。</li> <li>・個人に任せているため。</li> <li>・在宅生活となるので、自宅での訪問歯科を利用している利用者が多い。</li> <li>・併設の住宅型有料老人ホームで歯科往診があり、必要に応じて歯科医師に診察して頂いている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケア加算を取っていないため。</li> <li>・半日でのサービス提供の為食事を提供していないので、必要性を感じないため。</li> <li>・看護師でも代用できるから。</li> <li>・通所で歯科との連携が必要・可能な事を知らなかった。</li> <li>・相談できる病院はあるが、どのように連携していけばいいかわからない。デイご利用中の時間に診て頂くなど。</li> <li>・併設のサ高住の利用者が多く、そこで歯医者と連携を取っているため。</li> </ul>

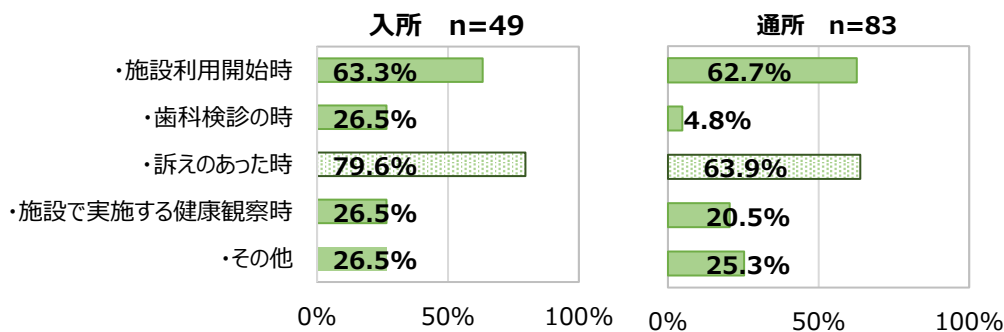
(3) 利用者の歯や口腔の管理状況について

①把握時期について（複数回答）

すべての施設は、何らかの方法で利用者の口腔内の状況を把握しています。

把握しているうち、各施設の口腔内の把握時期で一番多いのは、入所施設は「訴えのあった時（79.6%）」、通所施設は「訴えのあった時（63.9%）」です。

図表5 利用者の口腔管理状況の把握時期について（複数回答）

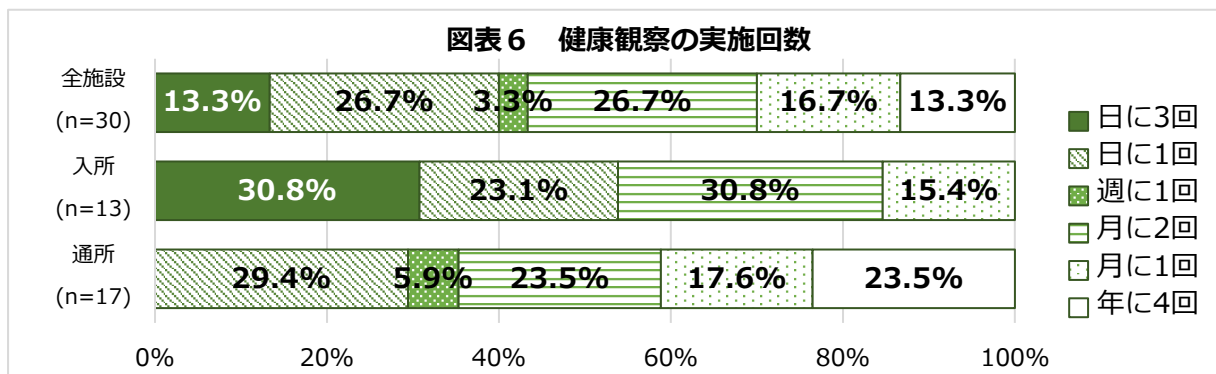


【その他 記載内容】

口腔ケア時	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の介助の際に確認している。</li> <li>・利用の際に昼食後の口腔ケア時。</li> <li>・口腔ケアに介助が必要な利用者様は介助をする際に歯や口腔の管理状況を確認している。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食後の口腔ケア実施時に看護師・介護職がわかる範囲で。</li> <li>・口腔ケア等、日常生活で気付いた時。</li> <li>・歯みがき等の時、スタッフが付いていて、歯科医院を受診した方が良いと判断した場合。</li> </ul>
検診時等	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科の訪問診療があるのでその時に診療・指導を1回/月受ける。</li> <li>・定期的な歯科受診にて口腔ケア実施。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科受診をした等の話を聞いた際に確認。</li> </ul>
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネージャーによる口腔内の確認があったとき。</li> <li>・口腔機能向上加算をとっている方は3か月毎に評価。月に2回確認。</li> <li>・計画書更新毎(3ヵ月毎)に実施。1か月半後のモニタリング作成時と、3ヵ月後のアセスメント作成時に問診やRSST測定を行っています。</li> <li>・実調にて義歯の有無と家族に状態を確認している。</li> <li>・利用前の調査時に口腔状態を確認している。</li> <li>・利用開始時にかかりつけ医の確認は行っている。</li> </ul>

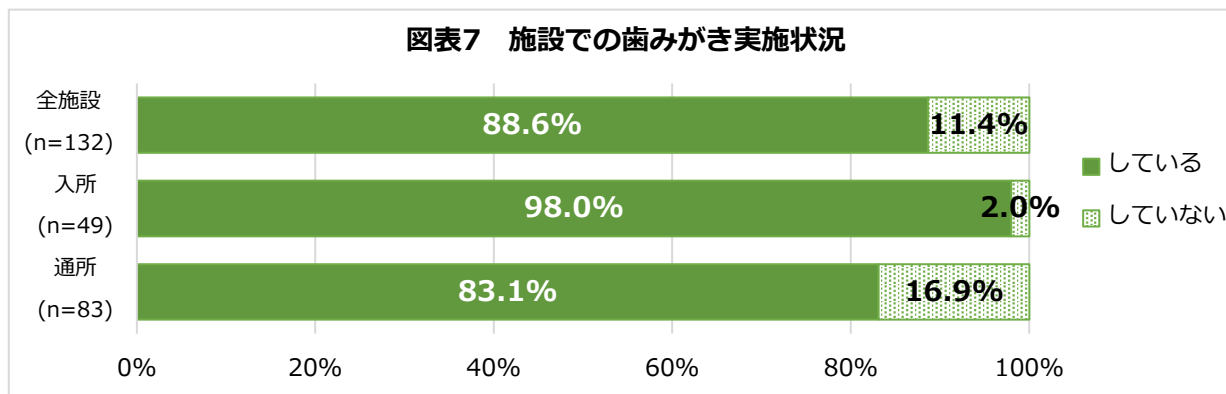
【健康観察の実施回数について】

健康観察を実施している施設のうち、実施回数が一番多いのは、入所施設は「日に3回(30.8%)」「月に2回(30.8%)」、通所施設は「日に1回(29.4%)」です。



## ②施設内での歯みがきについて

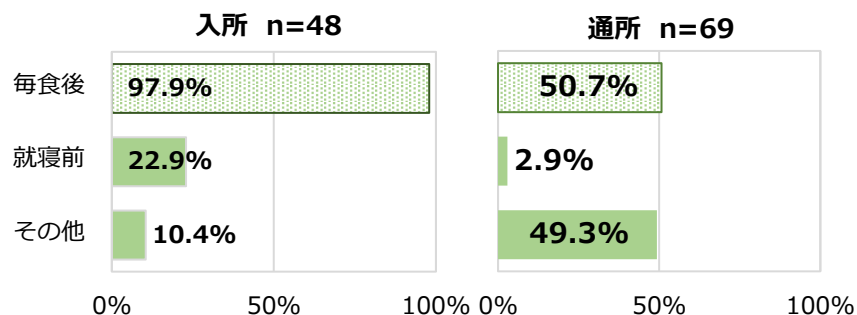
歯みがきを実施している施設は、入所施設は 98.0%、通所施設は 83.1%です。



### ア) 1日の中で歯みがきを実施する時期

歯みがきを実施している施設において実施時期で一番多い回答は、入所施設は「毎食後 (97.9%)」、通所施設は「毎食後 (50.7%)」です。通所施設の「その他」の回答では、昼食後の割合が高いです。

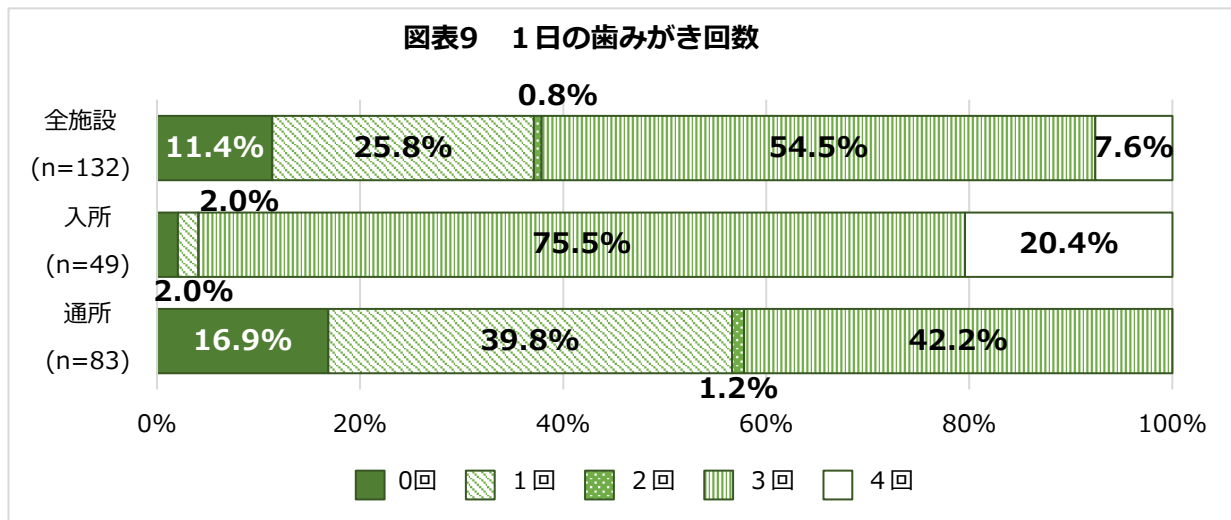
**図表8 1日の歯みがきを実施する時期 (複数回答)**



### 【その他 記載内容】

	内訳	回答内容
入所	2	起床時、食前のうがい・口腔内の拭取りの実施等
	2	経管栄養の人は食前に実施
	1	利用者ごとに違うタイミング
通所	32	昼食後
	2	個別口腔ケア算定者は来所時
	1	おやつの後
	1	できる人は毎食後

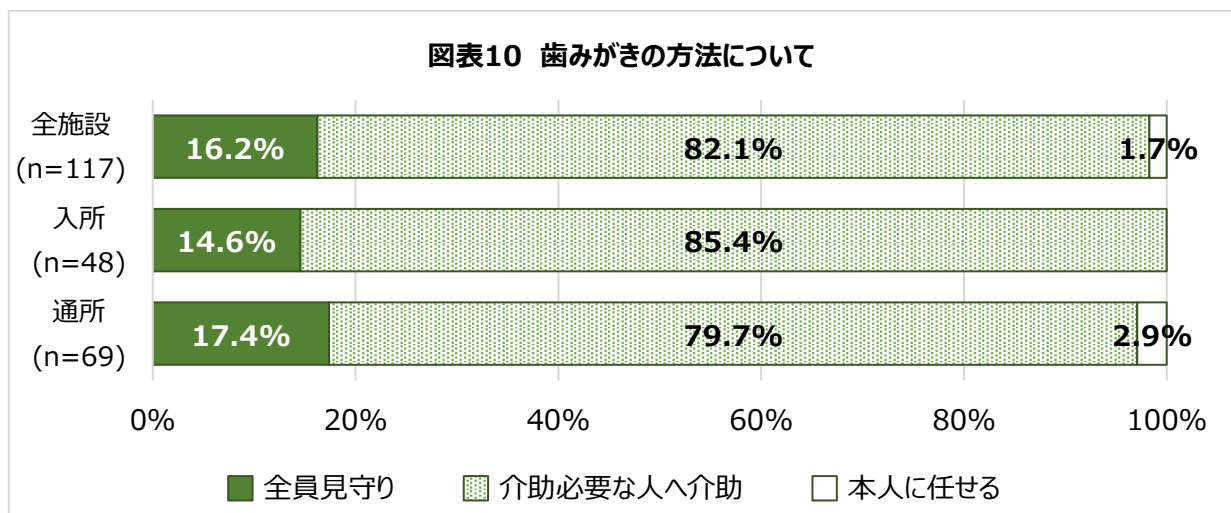
実施回数は、入所施設が「1日3回（75.5%）」、通所施設が「1日3回（42.2%）」が一番多いです。



1回 就寝前又はその他      2回 就寝前かつその他  
 3回 毎食後                      4回 毎食後かつ就寝前、または毎食後かつその他

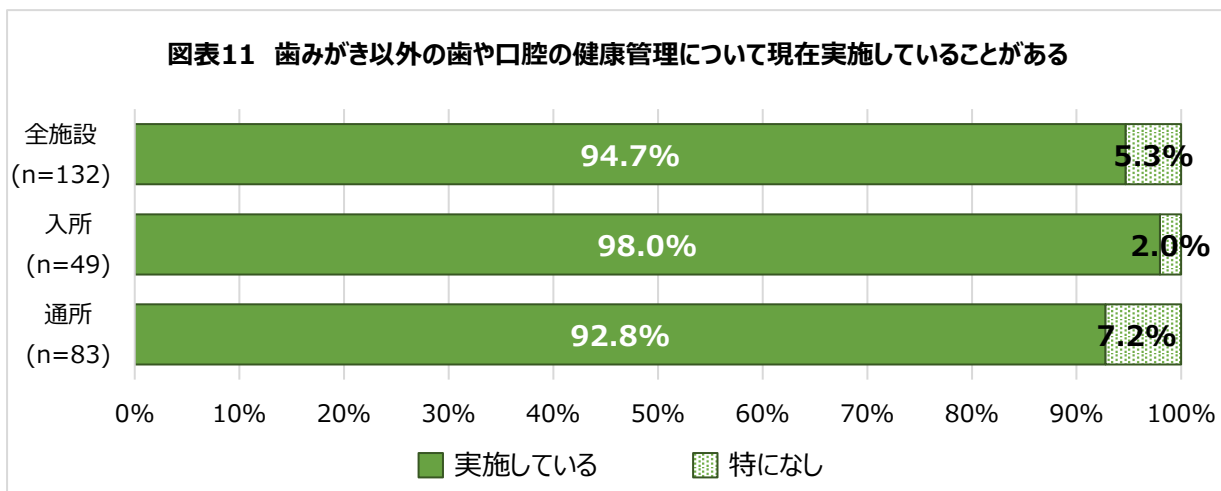
イ) 歯みがきの方法について

入所施設が「介助が必要な人へ介助（85.4%）」、通所施設は「介助が必要な人へ介助（79.7%）」が一番多いです。



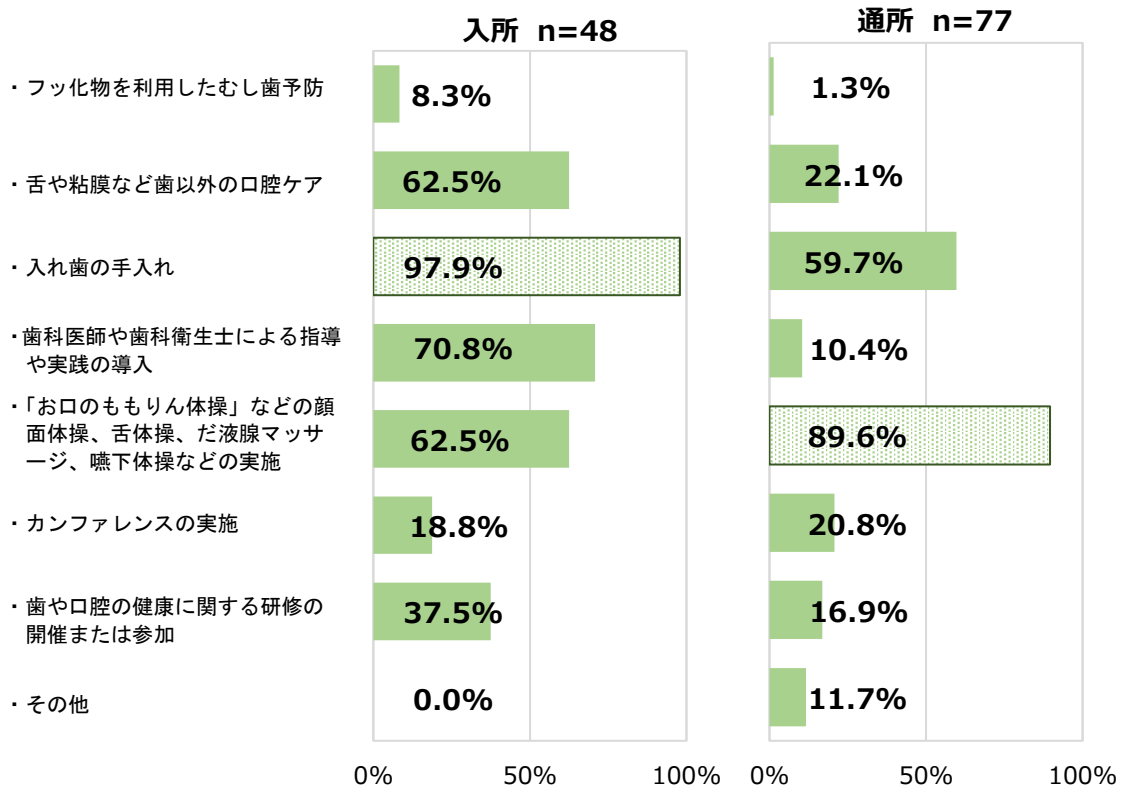
③歯みがき以外の歯や口腔の管理について現在実施していることについて

歯みがき以外の健康管理を入所施設では98.0%、通所施設では92.8%実施しています。



実施している内容は、入所施設が「入れ歯の手入れ (97.9%)」、通所施設は「『お口のももりん体操』などの顔面体操、舌体操、だ液腺マッサージ、嚥下体操などの実施 (89.6%)」が一番多いです。

図表 12 歯みがき以外の歯や口腔の健康管理について現在実施していることについて（複数回答）





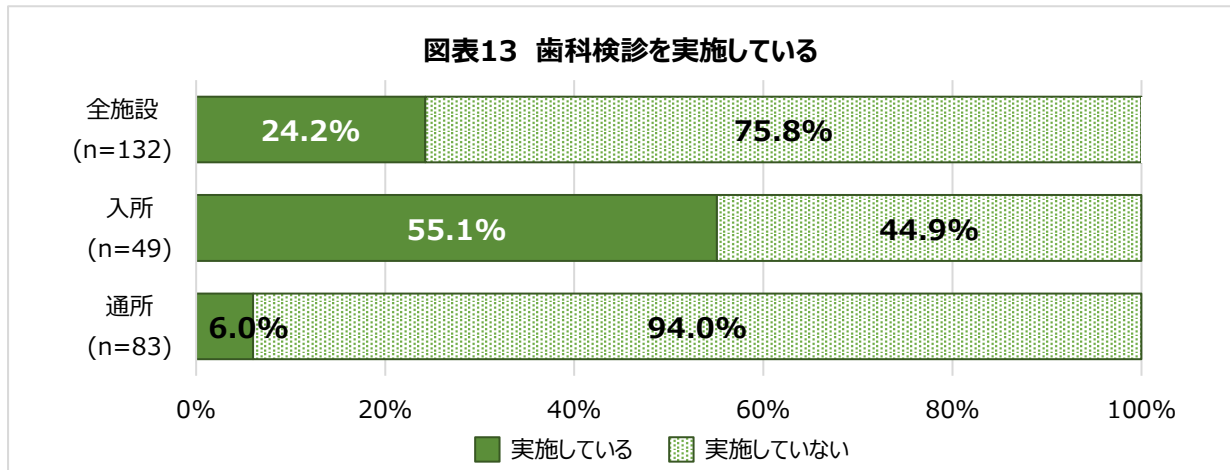
【その他 記載内容】通所施設のみ回答あり

- ・食事前の口腔体操。
- ・家族・ケアマネへの報告。
- ・定期的な問診・視認による口腔機能(咀嚼、嚥下、呼吸)の状態の確認。
- ・食後のうがい。個人に任せている。
- ・利用者の口腔状態に合わせた食事提供。
- ・利用者から口腔内の変化の訴えがある際はご家族と状態の共有または受診を勧めたり、カンファレンスにて食形態などの検討を行っている。
- ・契約時に歯科受診、往診を希望するか否かを確認して、希望者は定期的に受診している。

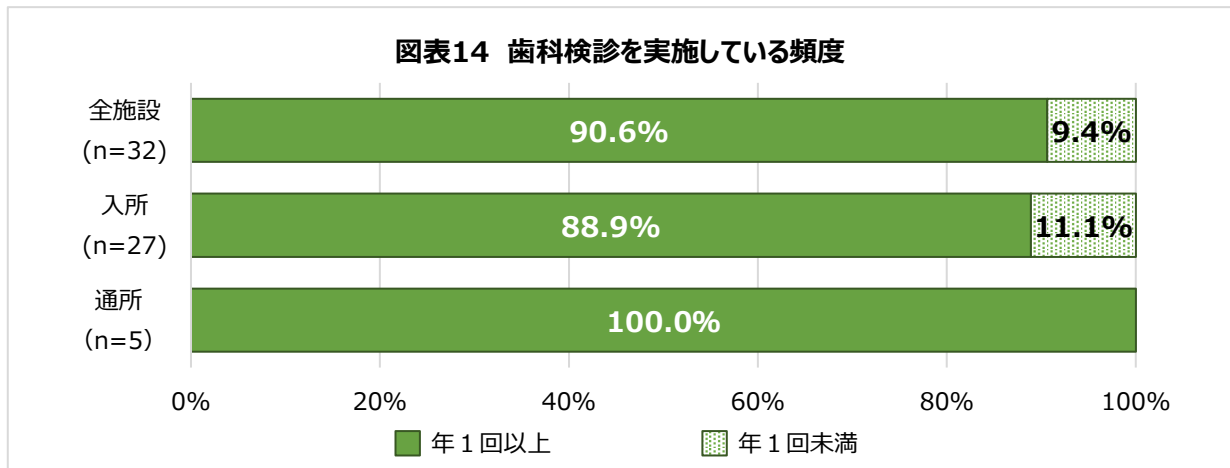
④施設における歯科検診について

ア) 頻度について

入所施設は 55.1%、通所施設は 6.0% 歯科検診を実施しています。

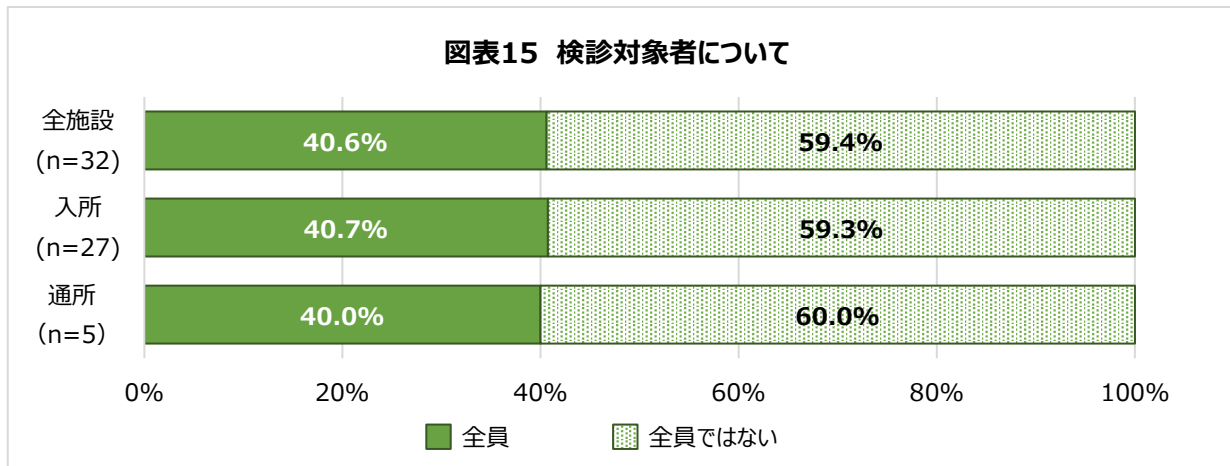


実施しているうち、入所施設が「年1回以上(88.9%)」、通所施設は「年1回以上(100.0%)」の頻度で歯科検診を実施しています。



イ) 検診対象者について

全員を検診対象にしている割合は、入所施設は 40.7%、通所施設が 40.0%です。  
対象者の選別基準は、入所施設、通所施設ともに「希望者」が多いです。

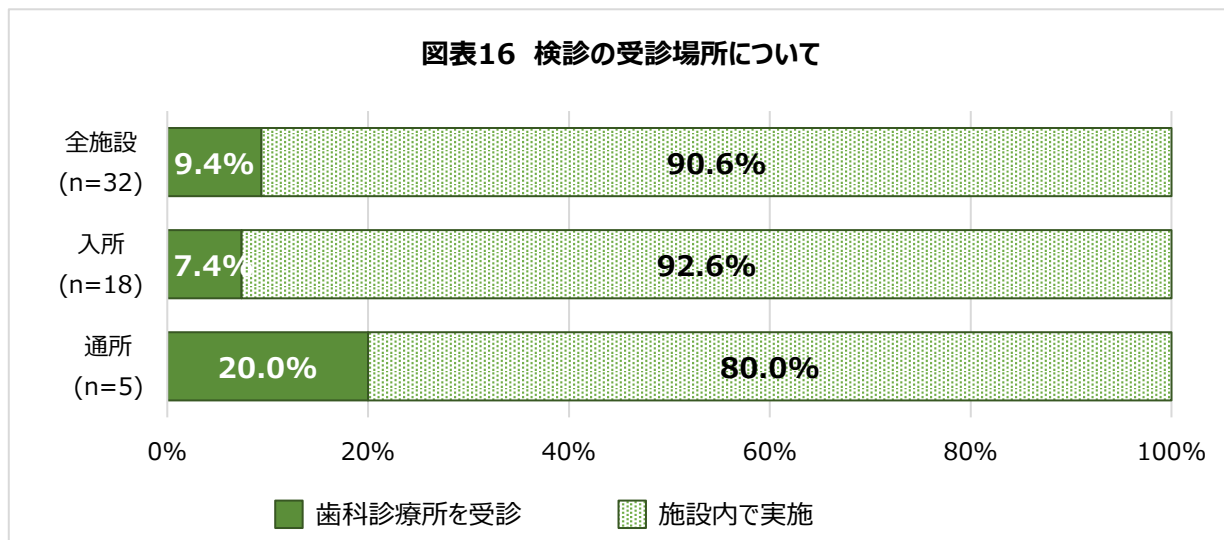


**【対象者の選別基準】**

希望者	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望者、口腔内トラブルがあった方。</li> <li>家族や本人の希望を確認。</li> <li>新規入居時、希望時。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭的なこともあるため、契約時に歯科受診、往診を希望するか否かを確認して、希望者は定期的に受診している。</li> </ul>
口腔内のトラブル	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔トラブルがあった人。</li> <li>総義歯やかかりつけ歯科がある方以外の数名が、トラブルがあったときに対応してもらっている。</li> </ul>
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>往診は症状がでたときのみだが、1～2名は症状がなくとも定期的に診てもらっている。</li> <li>歯がある方を優先に。義歯の方は不具合があったときに実施。</li> <li>往診を受けている方のみ。</li> <li>協力歯科医院の歯科医師の判断。</li> <li>健康観察の情報により選別。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいの程度により行う。</li> </ul>

ウ) 検診方法について

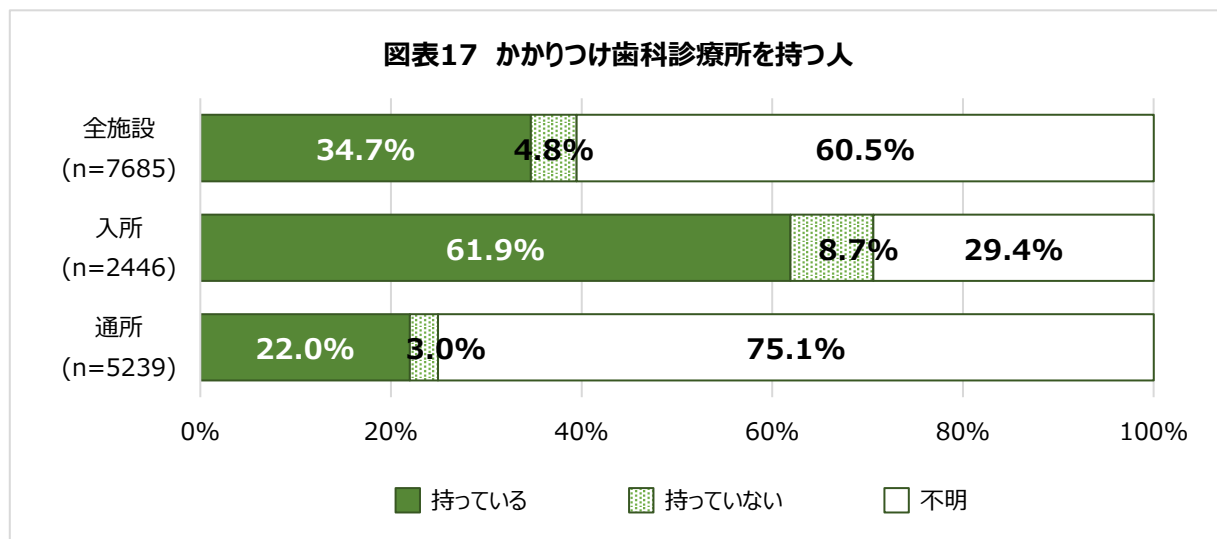
検診を実施している施設のうち、入所施設は「施設内で実施（92.6%）」、通所施設は「施設内で実施（80.0%）」が多いです。



⑤利用者の歯科受診状況について

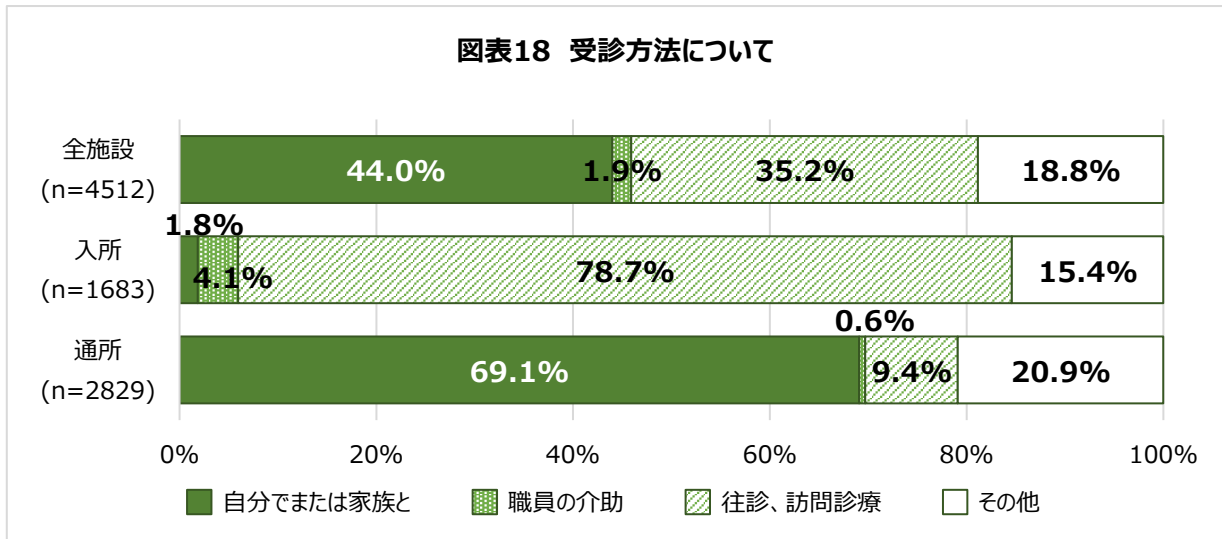
ア) かかりつけ歯科診療所を持つ人は何人いるか

入所施設では「持っている（61.9%）」、通所施設では「持っている（22.0%）」です。



イ) 受診方法について

入所施設では「往診、訪問診療（78.7%）」、通所施設では「自分でまたは家族と（69.1%）」が多いです。

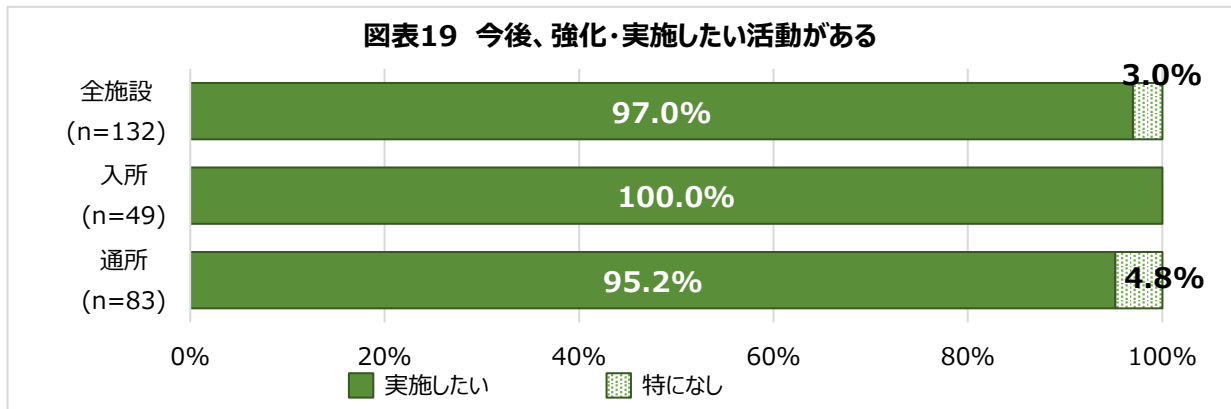


**【その他 記載内容】**

不明	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が個人で受診しているので状況が不明です。</li> <li>・現在、受診はしていないと思われる。</li> <li>・歯科受診状況について確認したことがない。</li> <li>・歯科受診をしている方はいるが、把握はできていない。</li> </ul>
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族または職員のどちらかがつきそう。</li> <li>・ショートステイは自宅にいる時は自分で受診し、施設利用時は実施せず。ロングステイは協力歯科受診、または施設往診にお願いする。</li> <li>・隣接の特養に訪問診療の来所時にあわせて実施してもらっている。</li> <li>・利用者の状態等や家族のその時の状況に応じて、受診方法を選択する。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診していない。</li> <li>・ヘルパー利用にて。</li> <li>・必要時等ご家族や担当ケアマネージャーに伝え相談している。</li> </ul>

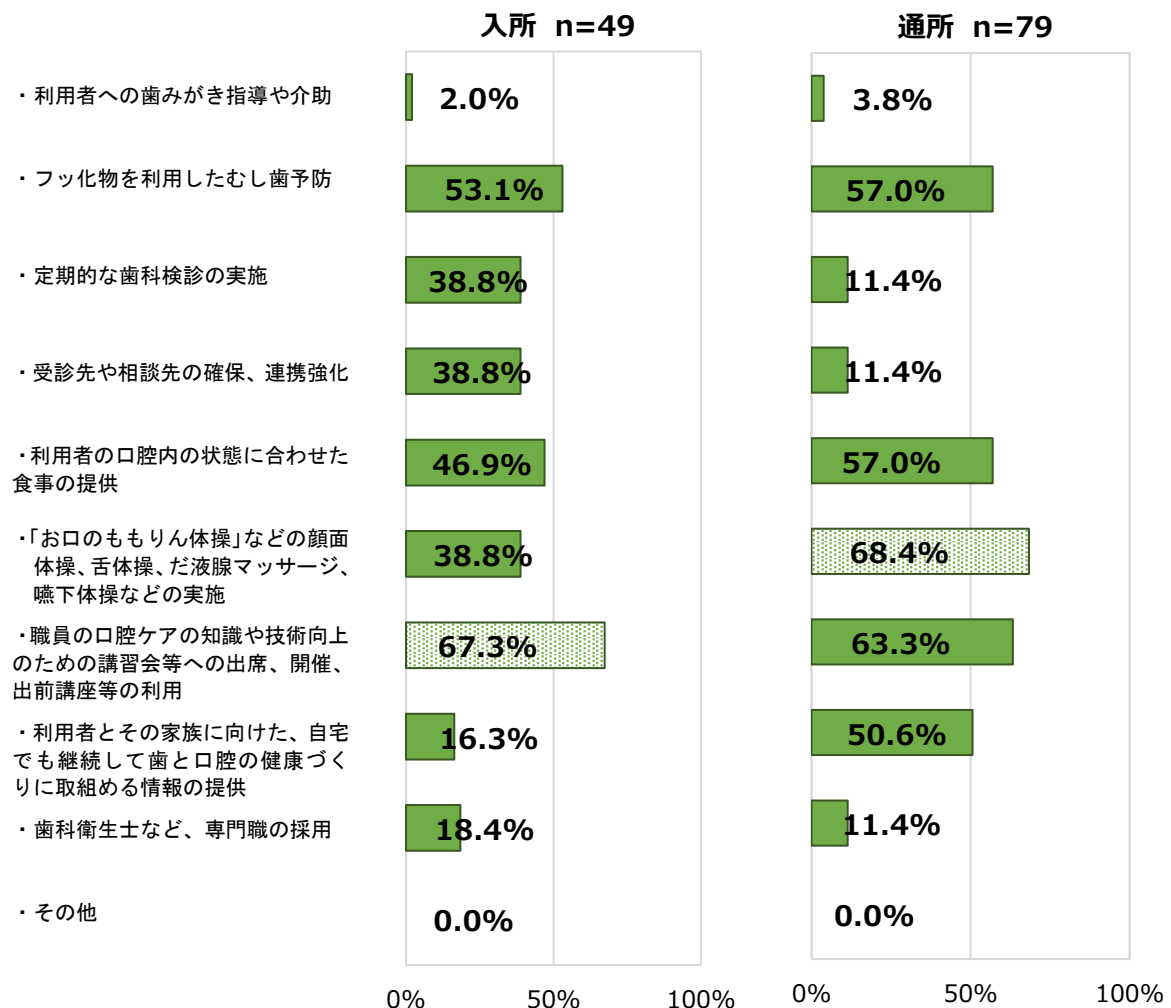
(4) 利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動について

入所施設は 100.0%、通所施設は 95.2% 今後強化したい、または取り入れたい活動があります。



内容で一番多い回答は、入所施設が「職員の口腔ケアの知識や技術向上のための講習会等への出席、開催、出前講座等の利用 (67.3%)」、通所施設では「『お口のももりん体操』などの顔面体操、舌体操、だ液腺マッサージ、嚥下体操などの実施 (68.4%)」です。

**図表 20 今後強化したい、または取り入れたい活動について (複数回答)**



### 3 施設において歯科口腔保健を進めていく上で課題となること（自由記載）

各施設において課題となることについて入所施設が 24 施設から 24 件、通所施設から 42 施設から 43 件の回答がありました。回答内容を分類した結果は下表のとおりです。

NO	項目	入所施設		通所施設	
		件数	順位	件数	順位
1	口腔ケアについて	15	1	10	1
2	摂食嚥下について	0	-	1	8
3	施設の現状について	0	-	9	2
4	連携について	2	3	8	3
5	職員の資質向上について	4	2	6	4
6	利用者と家族について	0	-	4	5
7	歯科検診や受診について	2	3	2	7
8	その他	1	5	3	6
合計		24		43	

以下に主な意見を抜粋し、掲載しました。

口腔ケアについて	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知機能低下している方が、7割以上のため、指導の継続が難しい。</li> <li>・口腔ケアを必要とする利用者にはスタッフがあつく関わりをもつが、自立している方の口腔内チェックまでできていないのが現状。そういう方が一番リスクがあると感じています。</li> <li>・認知が進み、口腔ケアに対しての認識がうすれるため、協力がえられない。</li> <li>・全入居者の歯科検診は実施できていません。定期的な歯科検診は必要と感じていますが、入居の時点で口腔衛生状態が悪いケースがほとんどです。（むし歯、義歯が合わない・作っていない、歯周病、口臭など）そこから、訪問歯科もしくは歯科医受診となると、その労力を職員体制上生み出せる状況にありません。そのため、日々の口腔ケア実践に力を入れていく必要があると考えています。</li> <li>・入居者様の口腔ケアの徹底</li> <li>・認知症のため、口腔内に対しての病識等の欠如や意思表示ができにくくなり、適切な口腔衛生管理及び適切な治療が必要な時に確認できず悪化してしまうことがある。</li> <li>・認知症の進行により、意思疎通の取れない方への口腔ケアの実施。介護拒否や抵抗のある方への口腔ケアの実施。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケア時、自立している方は本人に任せていることも多く、職員が把握しきれない。参加中はケアを徹底できているが、自宅では不十分な方もいるので、家族指導も必要。</li> <li>・利用者様各人について口腔ケアを実施したいが拒否があった場合の利用者への対応。</li> <li>・コロナ禍においてご利用者様の楽しみは食が一番大きいので、その食の楽しみを維持できるようにしたい。歯みがきを楽しむ方法を考えたい。</li> <li>・同居者の有無にかかわらず自宅で実施しない（できない）方が多く、事業所のみで実施しても効果が薄い。</li> <li>・定期的な口腔内の状況把握、検診の実施。</li> </ul>

摂食嚥下について	通所	・ムセリを予防、誤嚥性肺炎予防。
施設の現状について	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間と場所の確保が困難。</li> <li>・職員の負担増。</li> <li>・口腔機能向上加算を算定していますが、算定率が25%くらいなので他利用者にも算定をすすめていきたいと考えています。</li> <li>・看護師不在の事業所のため、対応できることが限られている。</li> <li>・歯科衛生士が固定曜日に週休があるため、全く介入できない利用者がある。</li> <li>・利用者毎の個別ケアが統一できていない。関りにムラがある。</li> <li>・利用者、家族に口腔ケアの必要性についてきちんと説明できる職員がいない。専門職の必要性を感じていても、採用となると難しく、連携としても費用負担が難しい。</li> </ul>
連携について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師や衛生士との連携ができていない。小規模であり、歯科衛生士の採用は困難。</li> <li>・多職種連携での誤嚥性肺炎予防</li> </ul>
職員の資質向上について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーラルフレイルについて、職員の資質向上。</li> <li>・口腔ケアの重要性(仕上げみがきの実施。口腔環境の維持・改善、肺炎予防)について各職種の意識向上。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3.6月より口腔栄養スクリーニング加算（Ⅰ）をとる方向で計画しております。そのため、職員の口腔ケアの知識・技術向上のため、勉強会をする必要があります。</li> <li>・職員への口腔ケアの知識・スキルの向上とその機会づくり。</li> </ul>
利用者や家族について	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に向けた情報提供。</li> <li>・費用や時間をかけて歯科口腔保健をすすめていくことに当事者やその家族に理解を得られないこともある。</li> </ul>
歯科検診や受診について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後の口腔ケアの際に状態把握を行っているが、症状が出てからの対応となってしまうことがほとんどである。予防的な取組強化のため、定期的な歯科検診の必要性を感じている。</li> <li>・かかりつけ歯科医を持ち定期受診する場合は入居者様やご家族様に対しての費用負担が発生することのご理解やご協力等についての説明や、協力して頂ける協力歯科医療機関を探ることなど。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問歯科が定期的に（月1回以上）来ていたが、新型コロナウイルス感染予防のため、おもうように診療がなされない。歯科の方からも、緊急以外は、ことわられる事がある。</li> <li>・在宅の利用者様は、身体状態や認知症の進行、などにより受診できなかつたり、連れていってくれる人がいなくなつたりと、かかりつけ医がいたとしても通院することができない人が多いです。家族、ケアマネに報告したとしても実際に受診につながる事がむずかしいです。口腔状態が悪くなつたり、義歯が合わないことで食事がしっかりとれません。</li> </ul>
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状は往診の歯科医、歯科衛生士と連携がとれている。次年度においては研修会等の依頼をお願いしている。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすめて行く上で、どのように行っているか、分からない。</li> <li>・現状は、月1回の歯科医師の診察（歯、口腔内チェック診察・治療）。歯科衛生士の歯、歯間、歯垢の除去、舌ブラッシングで口腔内の環境維持されているので、週に1回継続していきたい。</li> </ul>

#### 4 利用者の歯や口腔の健康のため、専門職に望むこと（自由記載）

各施設において課題となることについて入所施設 13 施設から 15 件、通所施設から 23 施設から 24 件の回答がありました。回答内容を分類した結果は下表のとおりです。

NO	項目	入所施設		通所施設	
		件数	順位	件数	順位
1	口腔ケアについて	0	-	2	4
2	摂食嚥下について	0	-	0	-
3	情報提供・研修会について	6	1	13	1
4	在宅時からの支援について	3	2	0	-
5	連携について	1	5	3	3
6	歯科検診や受診について	2	4	2	4
7	その他	3	2	4	2
合計		15		24	

以下に主な意見を抜粋し、掲載しました。

口腔ケアについて	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な口腔衛生に関する指導を行ってほしい。</li> </ul>
情報提供・研修会について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期間の入所施設になるため、入所にむけての情報（口腔ケア、治療含む）を頂けるとありがたいです。</li> <li>口腔ケアの手技、道具などのより良い情報を希望。</li> <li>勉強会等の開催。</li> <li>施設職員へ勉強会。（オンライン研修）</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>年に1度程度の口腔に関する講習会を開催して頂きたい。（施設内で）</li> <li>定期的な勉強会の開催や、高齢者へのアプローチの仕方を教えて欲しい。</li> <li>介護職員でもできる口腔ケアの知識や技術を習得できる研修会の場を設けて欲しい。</li> <li>認知症状の方への口腔ケアの仕方について、実践と指導を教えて欲しい。</li> <li>義歯の手入れや、歯みがきの仕方の講習会ができればと思います。</li> <li>歯みがきの習慣のない方や、認知症等による拒否がみられる方が受診・加療等行えることに注力されている歯科事業所等を知りたい。</li> <li>ご自宅でできる口腔ケアの内容、困った時の相談先などのチラシ作成・配布。</li> <li>定期的な検診の呼びかけ。</li> </ul>
在宅時からの支援について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>通院が難しい要介護高齢者にとっては訪問歯科が要であると思います。特養の性質上、認知的にも身体的にも重度化してから入居となる為、特に意思疎通が困難な認知症高齢者の口腔ケアは職員を悩ませています。</li> <li>口腔ケアの重要性のポイントについて、在宅時から関りを持ってほしい。</li> <li>寝たきり、車椅子状態で受診が不可能な方へのバックアップ。※当施設では問題なしだが、地域歯科医療を考慮すると在宅介護者等への支援は低いと考えられる。</li> </ul>



連携について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ敷地内に歯科があるため、連携がとりやすい。高齢者が食べることを楽しむため、今後も連携していきたい。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生士は在職しているので、在職の衛生士と地域の歯科医の連携を望む。</li> <li>・介護保険を利用している利用者で継続的なケアが必要な方がいる場合は、利用している介護事務所にも状況を連絡いただけるとありがたい。今後、互いの連携にもなると思われる。</li> <li>・現在、コロナ禍で実現出来ないが、ボランティアで訪問して頂いて、歯や口腔に関する指導をして頂きたい。</li> </ul>
歯科検診や受診について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設に入居されている方は歯医者を受診するのが難しい方もいます。往診という形で対応可能になってくれるとありがたいです。</li> <li>・定期的な歯科検診の実施。（政治的なシステム化）オンライン等での診察や相談しやすい環境づくり。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診が必要な時だけでなく、定期的な検査訪問を行ってほしい。</li> <li>・せっかく入れ歯を作っても、合わなくて使えない方もあり、さらには何回も作る方もあり、調整は難しいと思いますが、残念に思う事もあります。</li> <li>・定期的な訪問。</li> </ul>
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の往診の頻度で良い。</li> <li>・いつも早急な対応をしてくれる。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状は、月1回の歯科医師の診察（歯、口腔内チェック診察・治療）。歯科衛生士の歯、歯間、歯垢の除去、舌ブラッシングで口腔内の環境が維持されているので、週1回継続していきたい。</li> <li>・利用者から歯医者に行くことが億劫という声や長期にわたる治療が大変という声を多く耳にします。</li> <li>・認知症の方への理解。指示が入らないからと諦めないで治療できる方法を今後社会全体として考えて頂けると、認知症になっても当たり前の生活が送れると思います。</li> <li>・利用したことがないのでわからない。</li> </ul>

## 5 コロナ禍により、口腔ケア等について状況が変化した点、苦労している点等について (自由記載)

各施設において課題となることについて入所施設 17 施設から 17 件、通所施設から 41 施設から 41 件の回答がありました。回答内容を分類した結果は下表のとおりです。

NO	項目	入所施設		通所施設	
		件数	順位	件数	順位
1	感染予防について	4	2	21	1
2	防護用具の調達について	4	2	2	5
3	摂食嚥下について	0	-	10	2
4	情報提供・研修会について	0	-	1	6
5	歯科検診や受診について	5	1	3	3
6	職員の不安について	1	5	1	6
7	その他	3	4	3	3
合計		17		41	

以下に主な意見を抜粋し、掲載しました。

感染予防について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔衛生に関して歯科往診が入っているため、感染対策に注視しつつ気を使うことが多い。</li> <li>・職員が口腔ケアを行う際にフェースガード、ゴーグルを使用するようになった。口腔ケア後、洗面所に飛沫した後の清掃、消毒を徹底して行っていきたい。入所時、退院時、通院時の隔離対応時の予防を徹底していきたい。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケア時の順番待ちのソーシャルディスタンスに気を付けた。</li> <li>・その他ケア時の飛沫等・消毒負担。</li> <li>・食事後の口腔ケアでは、利用者・職員が飛沫等で感染するリスクがとても高いので、使用後のコップ・歯ブラシ等の洗浄・殺菌、保管方法を見直し、より徹底している。</li> <li>・三密を避けるため、時間差を設けて口腔ケアを行っている。</li> <li>・これまで施設に据え置きになっていた個々人の口腔ケアセットを、毎回のご利用ごとにご自宅へ持ち帰っていただくよう変更した。</li> </ul>
防護用具の調達について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケア時の防具用の装備はどのようにすべきかどのような対応をすべきかを知りたい。</li> <li>・飛沫感染リスクがある中での職員の防護用品等の不足。毎食後でディスポグローブ等が必要となるため、備品確保のための経営的な圧迫がある。</li> <li>・口腔ケアや歯みがきのつど、職員はフェイスガードやエプロンを着用し実施しているため、感染対策用品の確保が大変である。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケア時はフェイスシールド等着用している。グローブも都度交換が必要だが、在庫が不十分なときがあり困った。利用客同士隣りあわせでうがい等するためガードが必要。(とびはね防止)</li> <li>・感染防止を強化したために、感染防止の用具の購入金額の増加が大変です。</li> </ul>

摂食嚥下について	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昼食前に口腔体操を行っているが、マスクを着用しているため、利用者様の口の動きや、マッサージが思うようにできない。</li> <li>・ 本来はマスク会食が必須かと思いますが、食事時の換気に注意し、食事を楽しむ事を心がけています。全員の方ではありませんが、食事量がUPした方、むせりが少なくなった方が数名見られています。食事前に歌をうたったり、おしゃべりしたり、口腔体操をしたりと嚥下改善につながる運動を取り入れ、口腔ケアは無理のない範囲で会話を楽しみながら、お手伝いさせて頂くようにしております。</li> <li>・ 嚥下体操や嚥下訓練において、発生や舌だし等の飛沫が伴う訓練の仕方が変わった。（アクリル衝立やフェイスシールドの使用、マスク越しの発声や口内での舌運動で対応）訓練の効果や効率が極力落ちないように取り組んでいる。</li> </ul>
情報提供・講演会について	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員のケア向上のための講習会、勉強会の参加が難しい。</li> </ul>
歯科検診や受診について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内でのクラスター発生をうけ、訪問歯科診療を休止する期間が生じる。</li> <li>・ 定期往診を連携して取り組んできたが、感染拡大により現在施設の方針として停止している。</li> <li>・ 歯や口腔トラブルがあっても、コロナウィルス感染のおそれから行きたがらない。また、施設への往診制限で治療が止まっている。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流行期に入ってから受診の必要が出てきた場合（特に軽微な時）受診をすすめるににくい。</li> <li>・ 訪問をことわられるケースがあること。感染防止のためには、やむを得ない所もありますが。</li> </ul>
職員の不安	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飛沫による、粘膜からの感染予防の為フェイスシールドを使用しているが、それでも完全ではないと思われる。フェイスシールドを使用することによって利用者様が不安・不穏にならないか心配である。</li> <li>・ 収束の見通しがつかず、いつまでこのような状況が続くのか不安がある。</li> <li>・ フェイスシールドを着用しての口腔ケア実践に変化しました。その点以外は普段通りですが、口腔ケアに介助を要する入居者が8割以上いる中で、マンパワー不足は否認しません。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口腔ケアの際に、飛沫がかからないようにフェイスシールドを活用しているが、職員からは不安の声が聞かれる。</li> </ul>
その他	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 往診を控えることもなく、変わらない対応を取ってくれているため、苦労していない。</li> <li>・ 口腔ケアも、口を開いて下さらない利用者様もいらっしゃるの、上手にケアできるよう指導いただきたい。</li> </ul>
	通所委	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍でのマスク着用したままでの口腔ケアの仕方が分からないのでご指導を頂きたい</li> <li>・ なし 感染予防を行いながら口腔ケアを実施しています。</li> <li>・ コロナ前後で特に変化した時はない。</li> </ul>



### Ⅲ 障がい児者福祉施設の結果

## 1 利用者の年齢区分

図表1 施設利用者数

単位：上段人数（人） 下段割合（％）

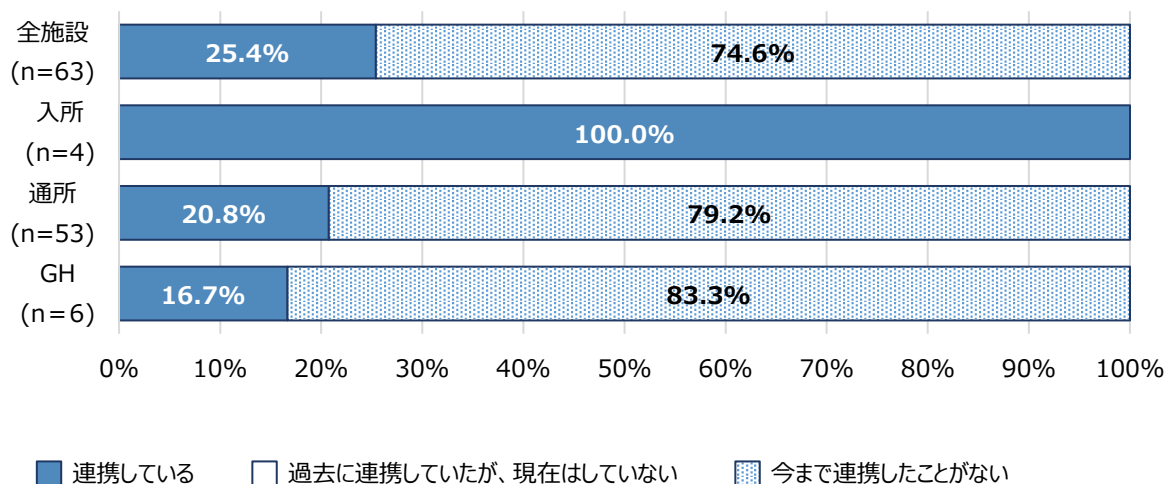
	回答施設数	利用者総数	18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上
全施設	63	1,502	427 28.4	890 59.3	185 12.3
入所	4	196	19 6.7	131 74.7	46 18.6
G H	6	89	0 0.0	82 92.1	7 7.9
通所施設	53	1,217	408 33.5	677 55.6	132 10.8

## 2 歯や口腔の健康管理に関する状況

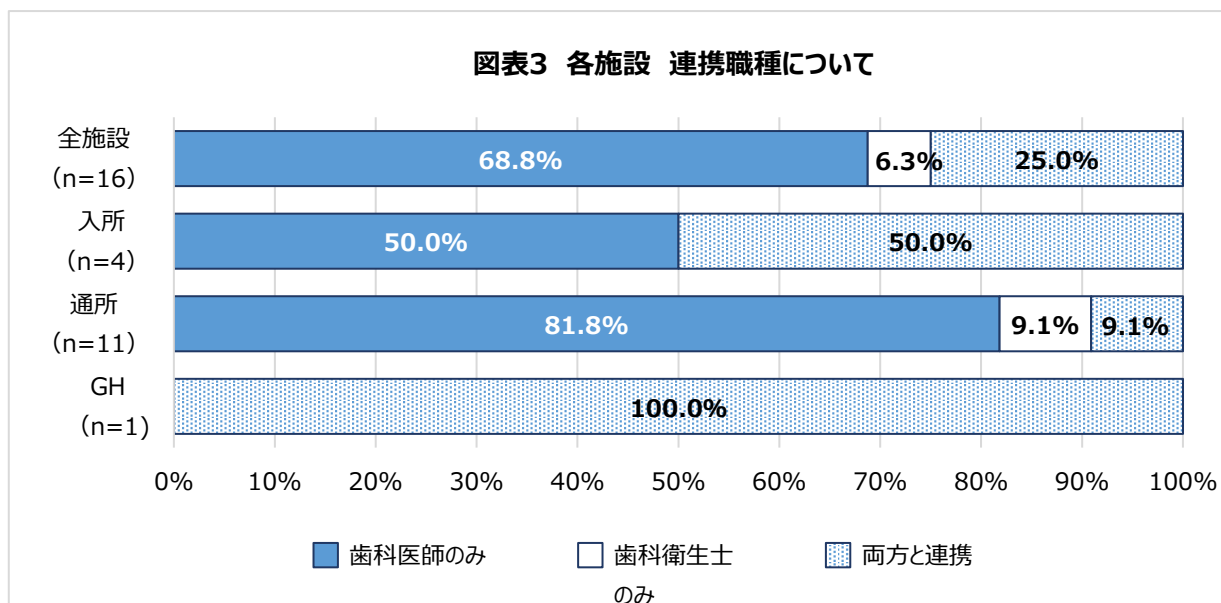
(1) 利用者の歯科検診や口腔ケア等についての歯科医療従事者との連携について

連携について、入所は「連携している（100.0%）」、通所施設は「今まで連携したことがない（79.2%）」が一番多いです。

図表2 各施設 連携先の有無について

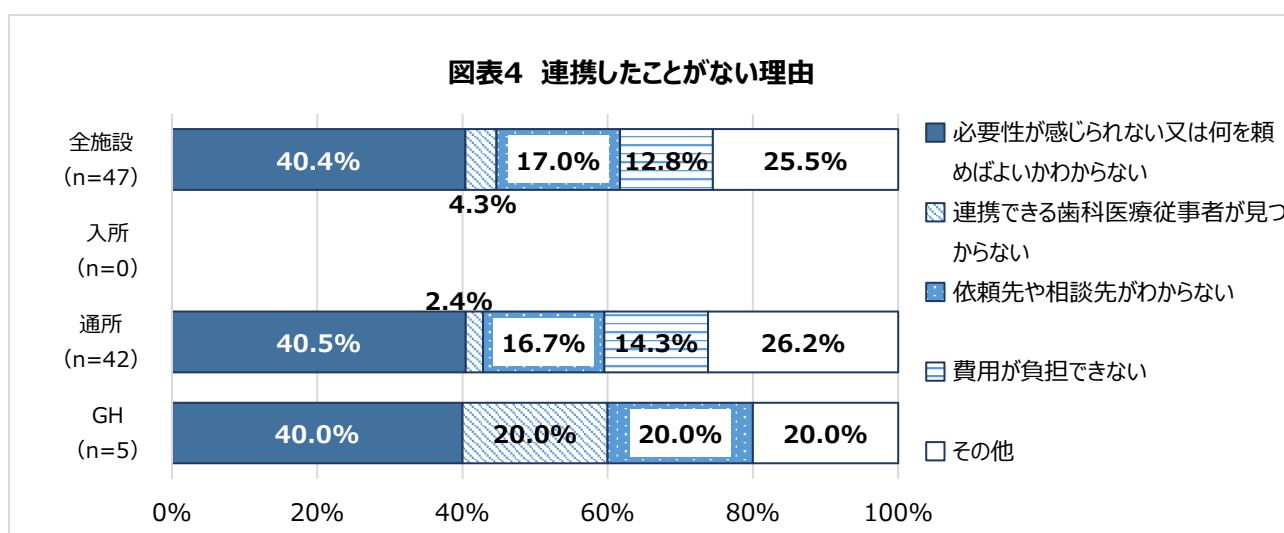


連携職種については「連携している」と答えた内、入所は「歯科医師のみ（50.0%）」「両方と連携（50.0%）」、通所施設については「歯科医師のみ（81.8%）」が一番多いです。



(2) (1) の連携をしていない理由について

連携していないと答えた施設のうち、入所は 100.0%連携しているため回答なし、通所施設では「必要性を感じられない又は何を頼めばよいかわからない（40.5%）」の回答が多いです。その他の記載では、通所施設のみ回答があり、「利用者に任せている」という内容が多いです。



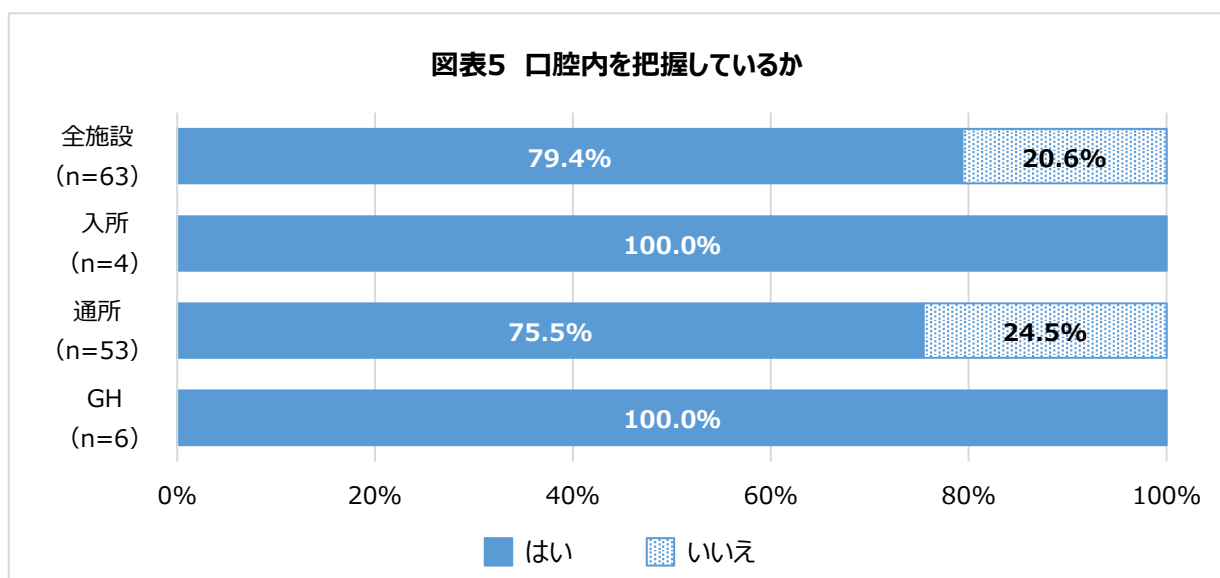
**【その他 記載内容】 通所施設のみ回答あり**

- ・必要に応じて歯科受診を助言することもあるが、個人の判断に任せている。
- ・各家庭で利用者を通院させているため。施設で気が付けば家族に知らせる。
- ・日中支援の事業所なので基本的には通院、治療行為は家族及びグループホームの支援者さんが行っているため。
- ・看護職員が充実しているため、口腔ケアへの実施も出来ていることから、必要性が感じられない。
- ・必要性は感じるが、利用者や支援員からの提案がない。

(3) 利用者の歯や口腔の管理状況について

①把握時期について（複数回答）

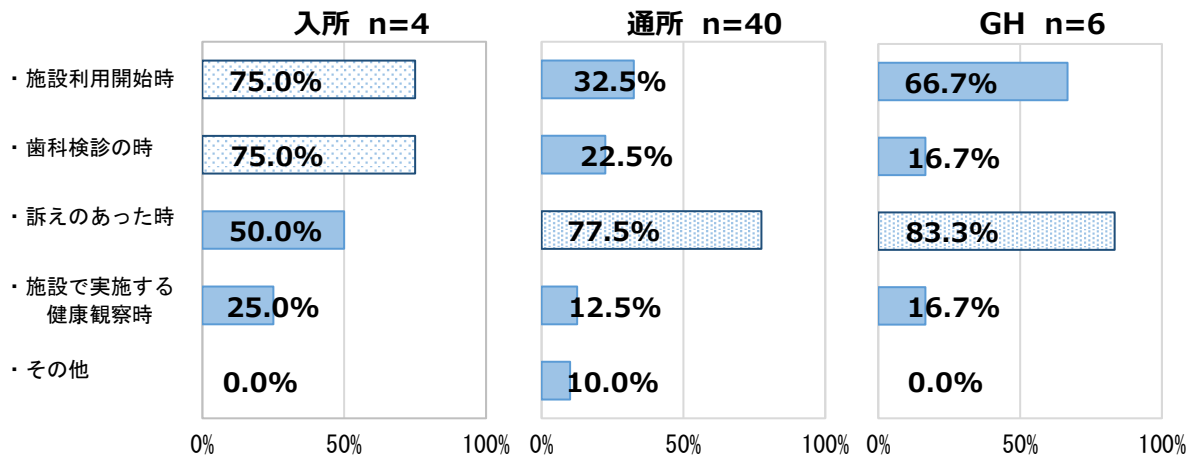
入所は 100.0%、通所施設は 75.5%の施設は、利用者の口腔内の状況を把握しています。





把握しているうち、各施設の口腔内の把握時期で一番多いのは、入所は「施設利用開始時（75.0%）」、「歯科検診の時（75.0%）」です。通所施設では、「訴えのあった時（77.5%）」です。

図表6 利用者の口腔管理状況の把握時期について（複数回答）

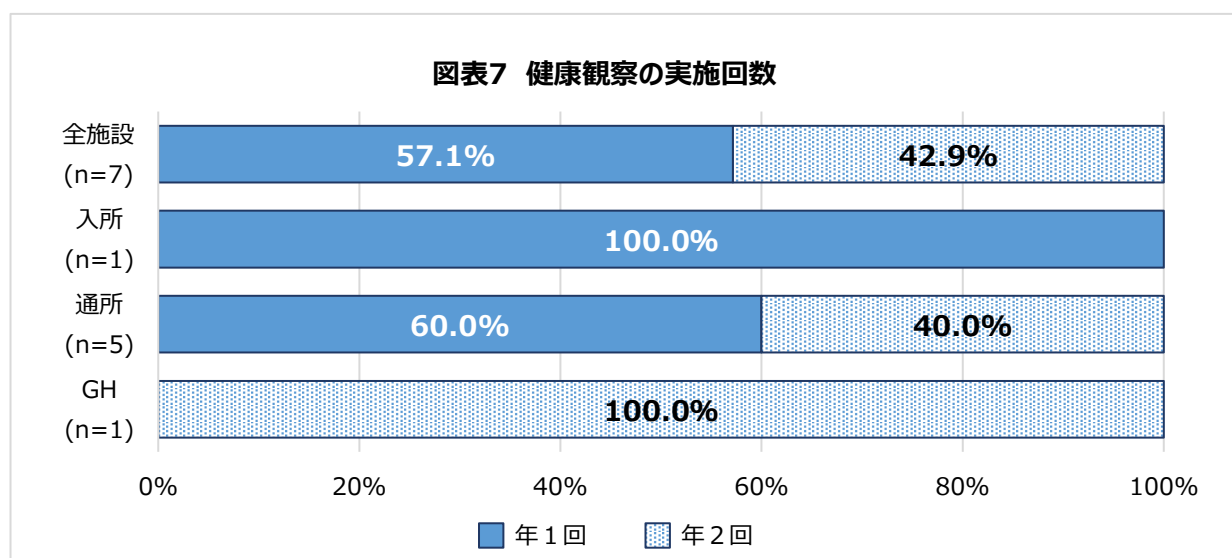


【その他 記載内容】 通所施設のみ回答あり

- ・食事指導や歯みがき指導など、気づいた時。
- ・学校での歯科検診や各家庭での定期受診後に適宜聴取。

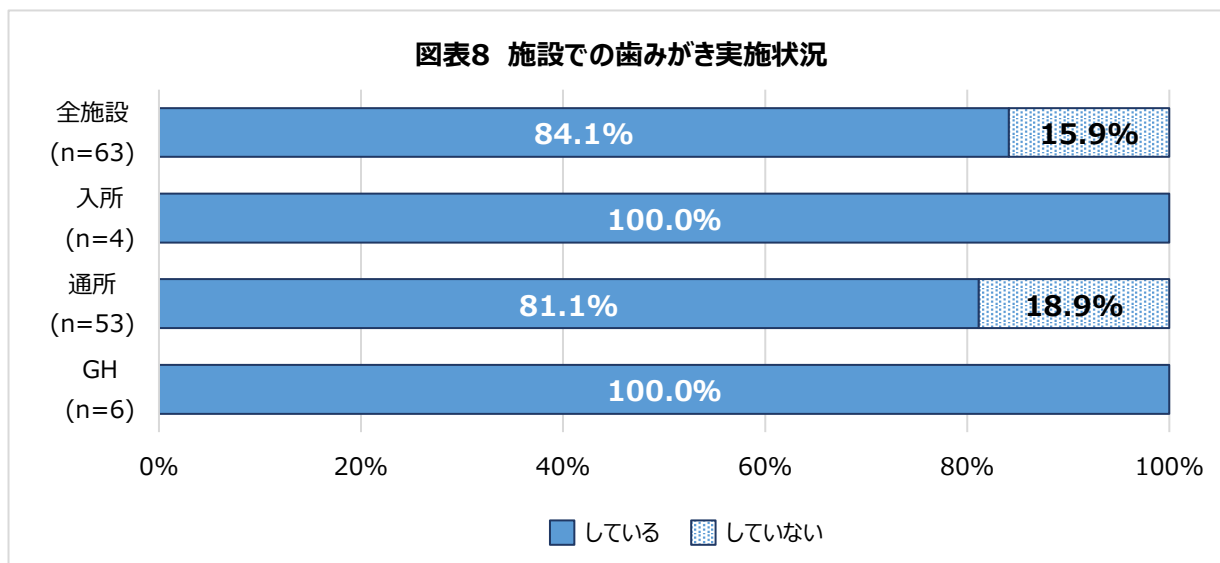
【健康観察の実施回数について】

健康観察を実施している施設において、その実施回数を質問しました。一番多いのは、入所は「年1回（100.0%）」、通所施設も「年1回（60.0%）」です。



②施設内での歯みがきについて

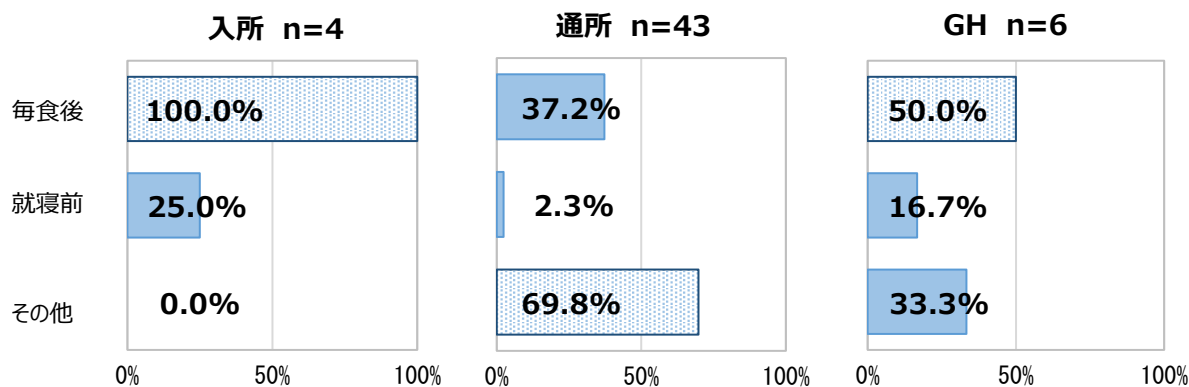
入所は 100.0%実施、通所施設は 81.1%実施しています。



ア) 1日の中で歯みがきを実施する時期

施設で歯みがきを実施している施設の内、実施する時期は、入所が「毎食後 (100.0%)」、通所施設は「その他 (69.8%)」が一番多いです。通所施設の「その他」の回答では「昼食後」が多いです。

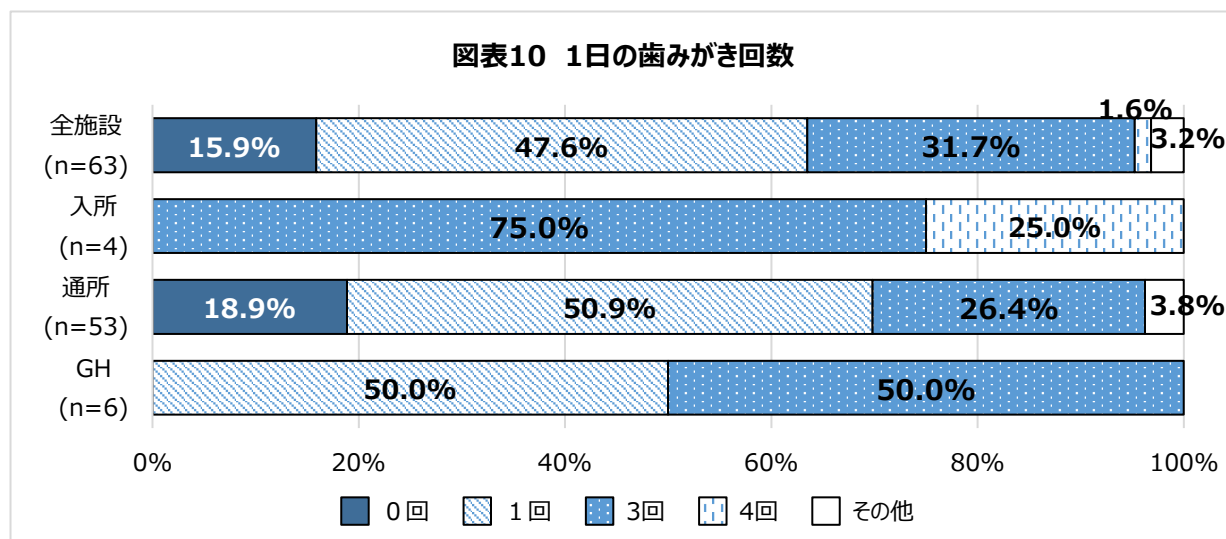
図表9 1日の歯みがきを実施する時期 (複数回答)



【その他 記載内容】

	内訳	回答内容
通所	29	昼食後
	3	おやつの後
	1	できる人は毎食後
GH	1	各自に任せている
	1	利用者ごとに違うタイミング

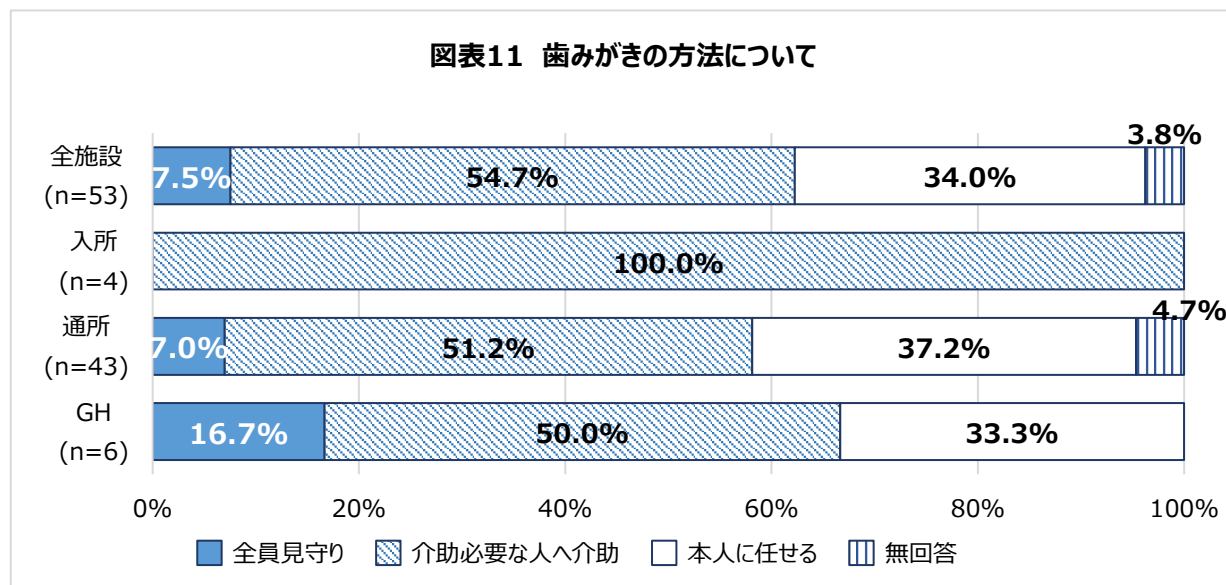
実施回数は、入所が「1日3回(75.0%)」、通所施設は「1日1回(50.9%)」が一番多いです。



- 1回 就寝前又はその他
- 2回 就寝前かつその他
- 3回 毎食後
- 4回 毎食後かつ就寝前、または毎食後かつその他

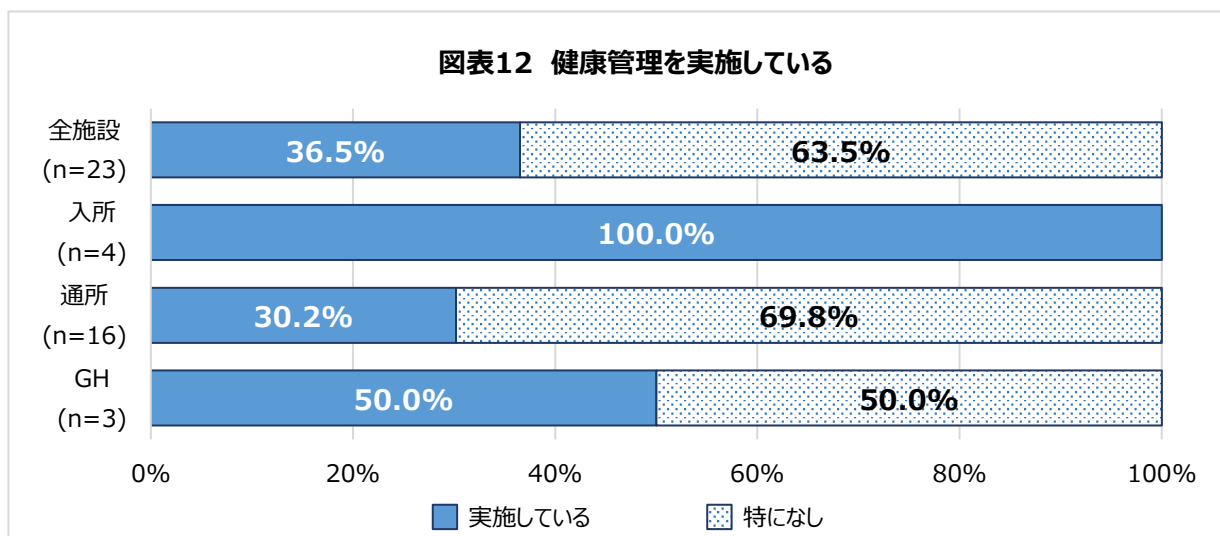
イ) 歯みがきの方法について

入所は「介助必要な人への介助(100.0%)」、通所施設は「介助必要な人への介助(51.2%)」が一番多いです。



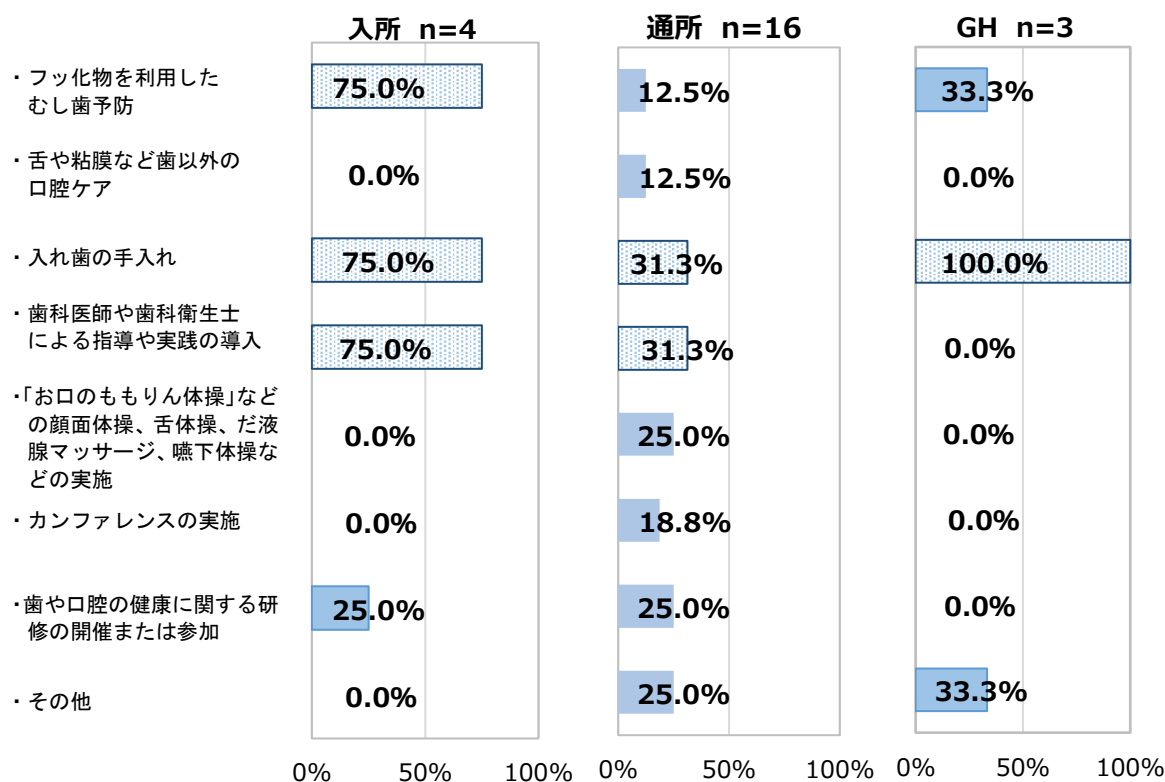
③歯みがき以外の歯や口腔の管理について現在実施していることについて

入所では 100.0%、通所施設では 30.2%、歯みがき以外の歯や口腔の管理を実施しています。



実施している内容は、入所が「フッ化物を利用したむし歯予防 (75.0%)」「入れ歯の手入れ (75.0%)」「歯科医師や歯科衛生士による指導や実践の導入 (75.0%)」、通所施設は「入れ歯の手入れ (31.3%)」「歯科医師や歯科衛生士による指導や実践 (31.3%)」が一番多いです。

図表13 歯みがき以外の歯や口腔の健康管理について現在実施していることについて (複数回答)



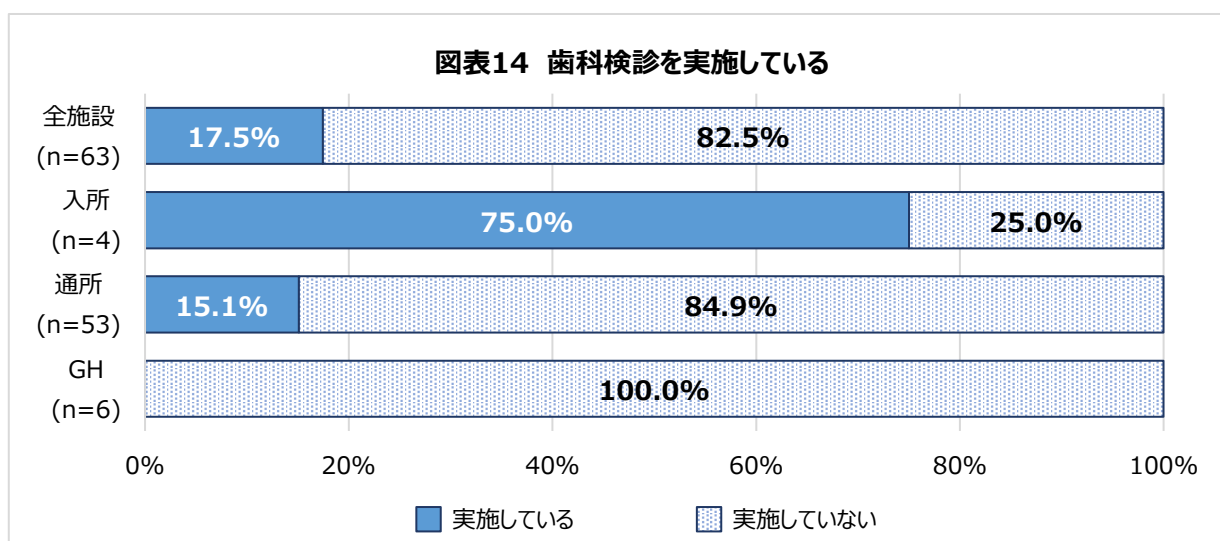
【その他 記載内容】

通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯みがきの支援や、歯ブラシ取り替え時期の声掛け、歯ブラシの消毒。</li> <li>・ 管理については、利用者さんの家族に任せております。</li> <li>・ 他事業所併用児童について、必要に応じて状況及び支援内容の共有。</li> <li>・ 歯科通院が必要と思われる児童については、保護者に伝え受診を促す。</li> <li>・ 言語聴覚士が利用児の口腔の状態を評価し、適切な食事形態・介助方法の検討、指導。 数名の児童に対しては口腔内のマッサージや筋刺激訓練を実施。</li> <li>・ 定期的に歯の大事さ、歯の健康を伝える手紙や通知を出している。</li> </ul>
GH	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口腔ケアの声掛け・確認、職員間での情報共有。</li> </ul>

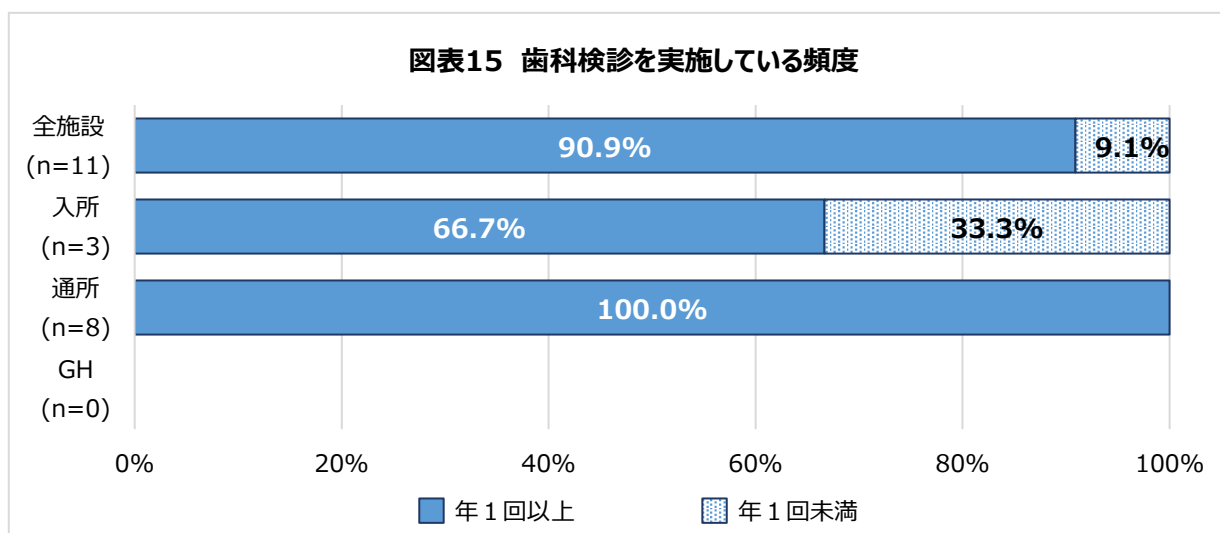
④施設における歯科検診について

ア) 頻度について

入所は 75.0%、通所施設は 15.1% 歯科検診を実施しています。

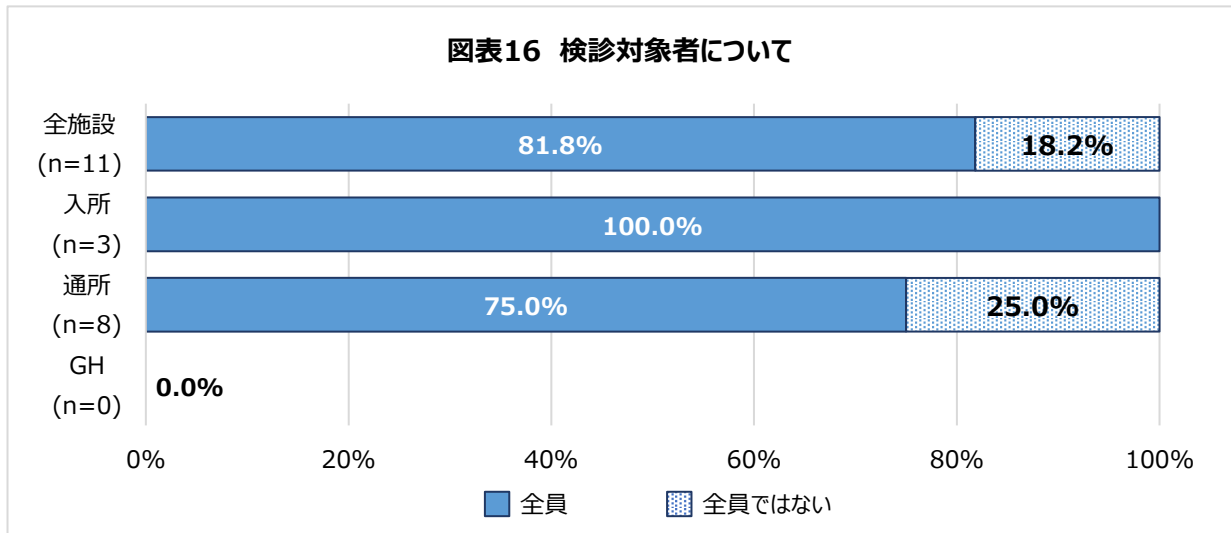


実施しているうち、入所が「年1回以上実施 (66.7%)」、通所施設は「年1回以上 (100.0%)」の頻度で歯科検診を実施しています。



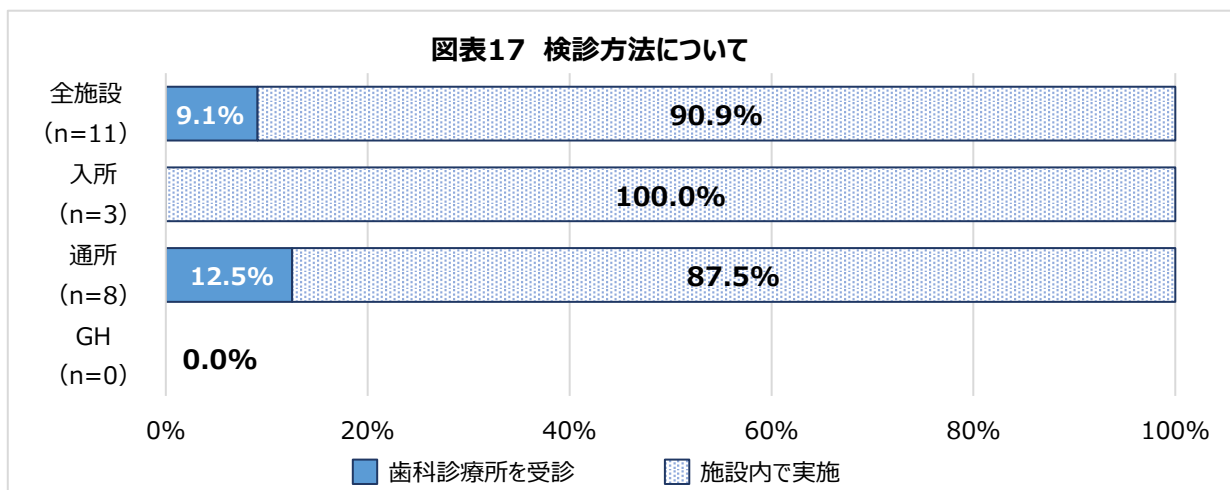
### イ) 検診対象者について

全員を検診対象にしている割合は、入所は100.0%、通所施設が75.0%です。通所施設の対象者の選別基準は、「検診日に施設を利用する方のみ」、「障がいの程度により違う」です。



### ウ) 検診方法について

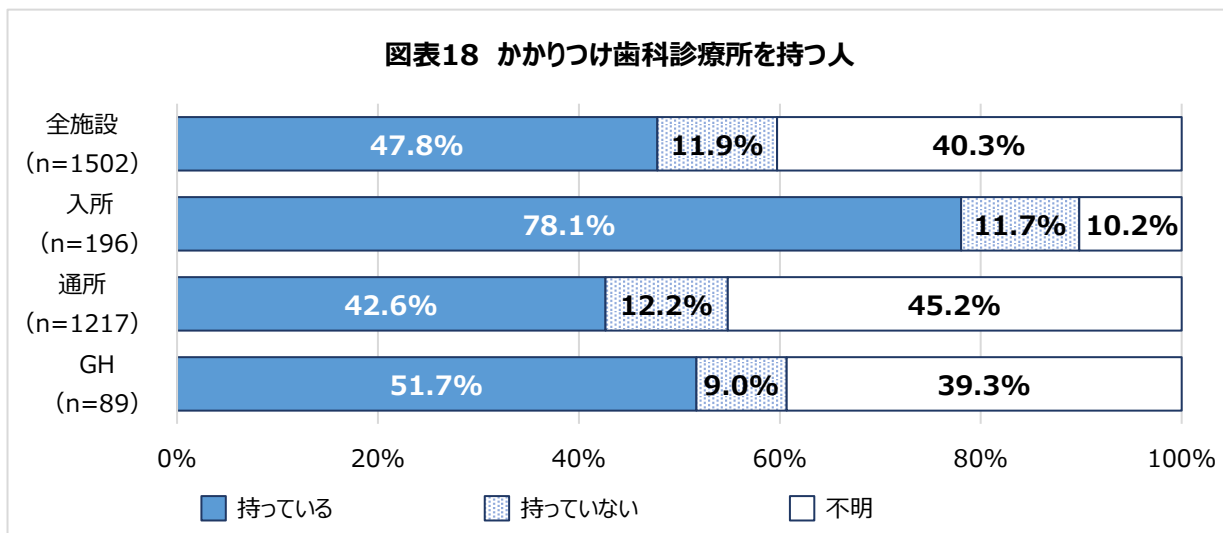
検診を実施している施設のうち、入所は「施設内で実施 (100.0%)」、通所施設は「施設内で実施 (87.5%)」が多いです。



⑤利用者の歯科受診状況について

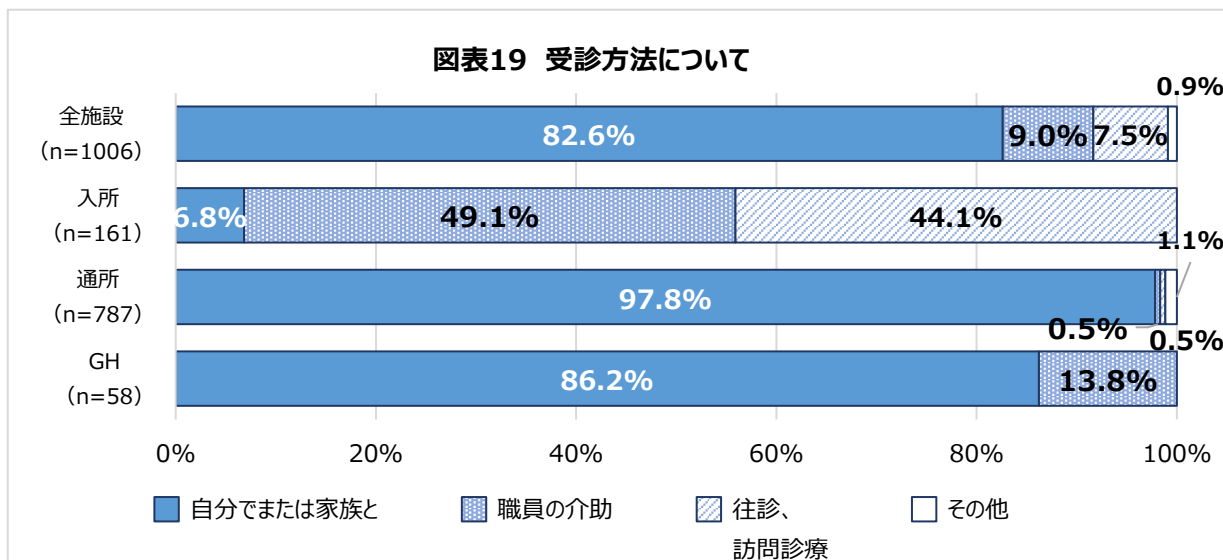
ア) かかりつけ歯科診療所を持つ人は何人いるか

入所では「持っている（78.1%）」、通所施設では「持っている（42.6%）」です。



イ) 受診方法について

入所では「職員の介助（49.1%）」が多く、通所施設では「自分でまたは家族と（97.8%）」が多いです。

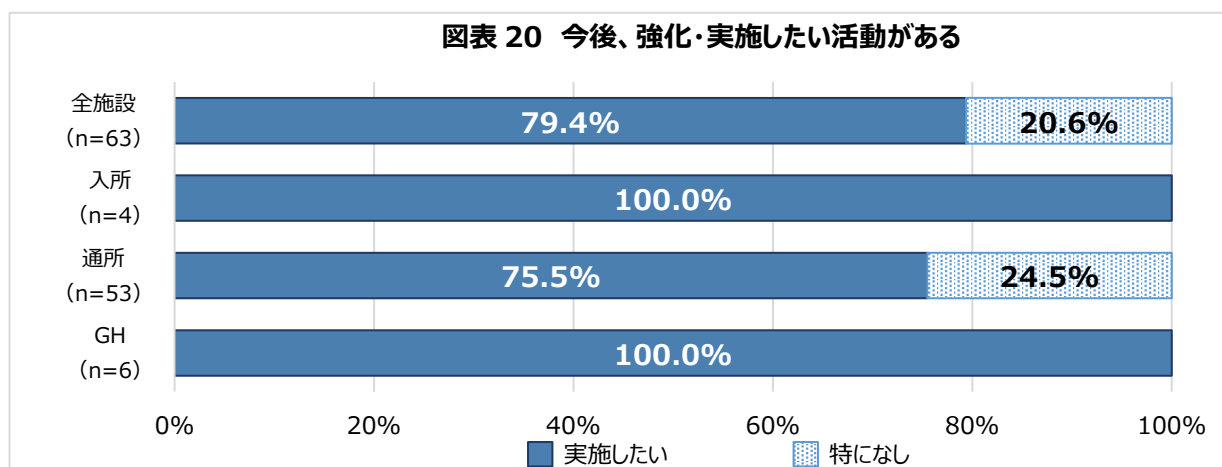


【その他 記載内容】 通所施設のみ回答あり

- ・グループホームの職員または、家族が連れて行っている。人数の内訳は把握していない。
- ・歯科受診については把握していない。
- ・ヘルパーの介助で受診。

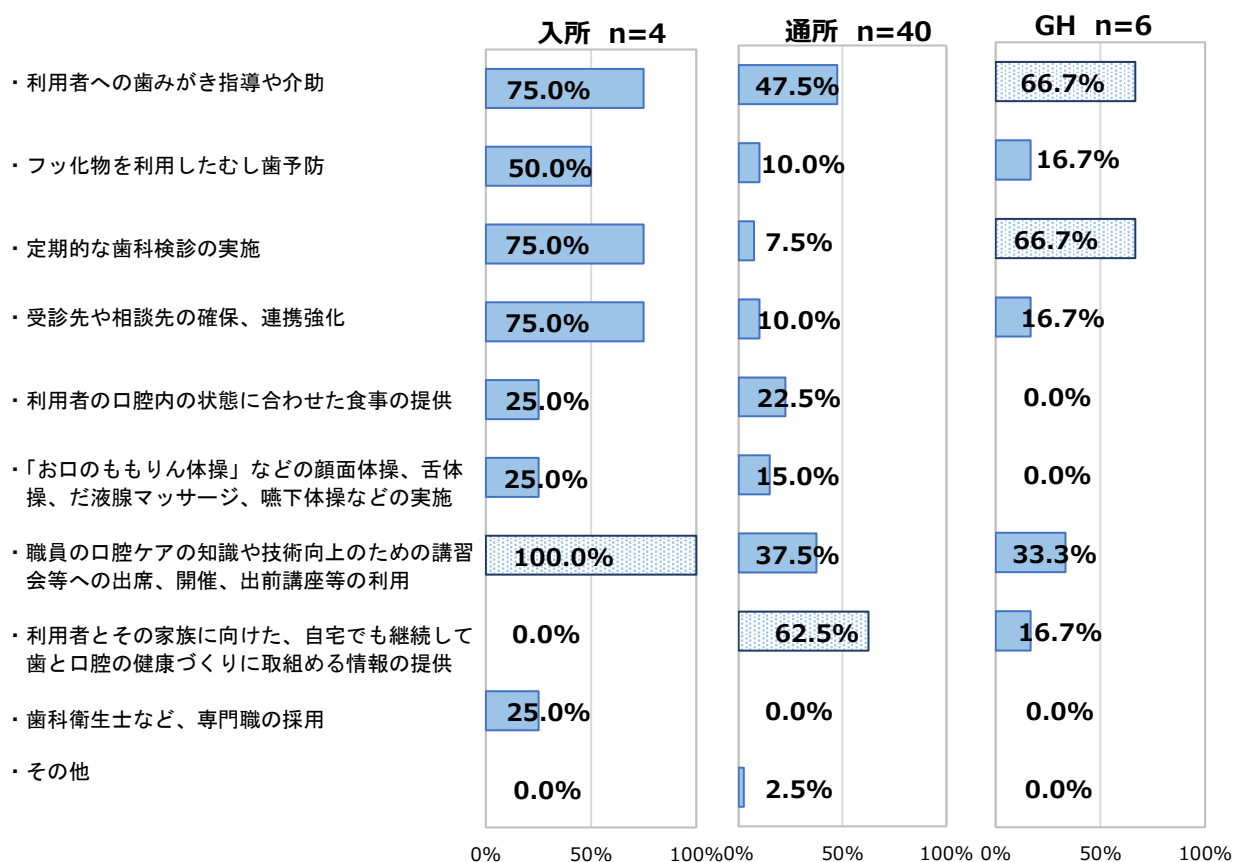
(4) 利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動について

入所は 100.0%、通所施設は 75.5% 今後、強化したい、または取り入れたい活動があります。



内容で一番多い回答は、入所が「職員の口腔ケアの知識や技術向上のための講習会等への出席、開催、出前講座等の利用(100.0%)」、通所施設では「利用者とその家族に向けた、自宅でも継続して歯と口腔の健康づくりに取組める情報の提供(62.5%)」です。

**図表 21 今後強化したい、または取り入れたい活動について (複数回答)**



**【その他 記載内容】** 通所施設のみ回答あり

・養育の中で食事(おやつ)を取ることを、行っていません。



### 3 施設において歯科口腔保健を進めていく上で課題となること（自由記載）

各施設において課題となることについて入所が3施設から3件、通所が35施設から39件、GHが4施設から4件の回答がありました。回答内容を分類した結果は下表のとおりです。

NO	項目	入所		通所		GH	
		件数	順位	件数	順位	件数	順位
1	口腔ケアについて	0	-	3	7	3	1
2	摂食嚥下について	0	-	0	-	0	-
3	施設の現状について	2	1	6	3	0	-
4	連携について	0	-	3	6	0	-
5	職員の資質向上について	1	2	4	5	0	-
6	利用者と家族について	0	-	6	3	0	-
7	歯科検診や受診について	0	-	10	1	1	2
8	その他	0	-	7	2	0	-
合計		3		39		4	

以下に主な意見を抜粋し、掲載しました。

口腔ケアについて	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口を開けられない方もいらっしゃるためそのような際の対応の仕方。</li> <li>・口臭の気になる利用者が一定数おり、本人も気づいていないケースが多い。問題意識を持ってもらうために、本人に“何を” “どのように” 伝えるか、難しさを感じている。</li> <li>・昼食後の歯みがきを推奨してもしない利用者もおり、歯みがきの重要性を伝える事。</li> </ul>
	GH	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯みがきに拘りをもっている利用者への対応。 例えば、歯みがき時間が長い、途中で終わられないなど。</li> <li>・不穏時の歯みがき拒否。深夜の飲食（歯みがき無し）。</li> <li>・歯みがき指導及びむし歯予防。</li> </ul>
施設の現状について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい特性上接触に過敏であったり、歯科受診経験が少なかったりすると、口周囲、口腔内を触れることを嫌がり施設内での対応に時間を有する。</li> <li>・歯を治療してもらう歯科医院はあるが、日頃の口腔の健康を保つための専門的な指導者がいないため、むし歯や歯周病の予防までいかない。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援を行う作業所であり、口腔ケアまで行う時間的余裕がない。</li> <li>・通所の施設なので、昼食後の口腔ケアのサポートとなる。 就労継続支援事業所として、生活面にどのくらい時間をかけられるのか問題となっており、口腔ケアだけでなく、爪や頭髮ひげ、衣服等の衛生管理を家庭と連携して進めなければならない。歯科口腔保健を進める上で、事業所としてどのように関わっていくのか分からない。</li> <li>・歯科口腔の健康管理の情報を集め、施設で保管することが難しい。</li> <li>・児童一人一人に支援する場合の職員の割り振りや、人員配置について。</li> </ul>

連携について	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科医療従事者との連携。</li> <li>・ 小規模施設なので、口腔ケアに特化した職員を採用することは難しいため、外部からの専門職の訪問指導などが受けられる機会があるとよい。またその際の費用負担も導入検討するうえでは大きな問題となる。</li> <li>・ 当事業所に通所している利用児は、歯科を含め、病院を受診することが課題となっている。視覚支援等で保護者と連携を取りながら対応しているが、定期的に事業所への情報提供をいただけるとありがたい。</li> </ul>
職員の資質向上について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場職員のスキル。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口を開けられない方もいらっしゃるためそのような際の対応の仕方。</li> <li>・ 職員の口腔ケアの知識や技術向上。</li> <li>・ 口臭の気になる利用者が一定数おり、本人も気づいていないケースが多い。問題意識を持ってもらうために、本人に“何を” “どのように” 伝えるか、難しさを感じている。</li> <li>・ 障がいを持つ児童・生徒の放課後の施設であるので、基本的には保護者の管理である。利用時のおやつの後など日々の歯磨き等については職員が介助するものの、意思疎通が困難な場合も多く、入念な歯磨きには至らないことが多いため、歯ブラシや口腔ケア用うがい薬などの使い方を覚えてもらうことを繰り返し行っているが、なかなか困難である。</li> <li>・ 言葉の遅いお子様の中には、口輪筋など顔の筋肉に課題のあるお子様もいる。今後、口腔体操など知識をつけていきたいと思う。</li> <li>・ 昼食後の歯みがきを推奨してもしない利用者もおり、歯みがきの重要性を伝えること。</li> </ul>
利用者と家族について	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員 口腔ケアの重要性について理解しており、ケアにも力を入れているが、自宅ではなかなか難しい利用者もいる。ケアのために情報共有も難しい。</li> <li>・ 利用者やご家族からの希望があることが前提となります。</li> <li>・ 定期的に（年1回）な歯科検診の実施を考えたいが、家族等への費用負担をお願いすることを考慮すると、利用者さん（家族を含めて）の自主性にお任せするほかないと考えています。</li> <li>・ ご家庭と事業所の間で、どこまでこちらが助言してよいか悩む。</li> <li>・ 私共は 18 歳以下の児童が対象の施設ですので、各学校でもそのような講習を行っているとしますし、基本的には保護者の方にお任せしている現状です。著しく口内や歯の状況が悪化していると見受けられる場合には、保護者の方に伝え歯科受診を勧めていますが、強制はできませんので、保護者の方の意識を高める方法が分かれば、と思います。しかしながら、その方法もなかなか情報がないので伝えられない状況です。</li> <li>・ 就労B型の日中活動の為か、特別になにもしていないが、利用者の平均年齢も高くなってきたので施設から定期的に「歯の健康についてや、歯からくる病気」などのお知らせを配布している。また、歯科へはなんらかのトラブルがないと保護者や家族は動かない状態の方がほとんどである。保護者や家族の関心が薄いこともあり中々難しい。</li> </ul>

歯科検診や受診について	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科治療や定期検査を年2回お願いしているが、障がいを持った方への治療を行って頂ける歯科が少なく、家族の足が遠のいている。</li> <li>・ 施設の囑託医による歯科検診を年1回実施し、検診結果を各家庭にお知らせするが通院して治療をしてくださる方となかなか通院治療につながらない方がいらっしゃることに。</li> <li>・ ほとんどかかりつけ歯科診療所をもっているが、この先親が通院させることができなくなる場合も考えられる。その時にどうしたらよいか。</li> <li>・ 障害の有る利用者は、特定の歯科にしか通えないので困る。</li> <li>・ 本施設（事業所）に通所している利用児（自閉症傾向等）は、歯科を含め、病院を受診することが大きな課題の一つである。課題解決のために「病院の受診の仕方」等について、本事業所の公認心理士より保護者宛の研修（視覚支援等）を実施している。今回の調査で「福島市障がい者歯科診療所」があることが分かったので、保護者に啓発していきたい。</li> </ul>
	GH	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まず、利用者様達に定期的な歯科検診などを受けていただき、歯科口腔環境を良好に保っていただくこと。</li> </ul>
その他	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナが収まったらまた昼食後の歯みがきを再開し、むし歯が増えないように事業所でも歯みがきチェックする。</li> <li>・ 生活保護の方が多いので、自己負担の課題、無料の定期健診等があるか不明。</li> <li>・ 現在まで年2回の歯科検診を行っていることで子どもたちの歯科診療がスムーズに受けられるなど成果があるため今後も継続したい。</li> <li>・ 障がいの内容や程度、家族の生活状況により、歯みがきなども大変なご家庭もあるかと思えます。それぞれに優先せざるを得ない状況が違うことを考慮した上で、今できることを保護者と一緒に考え、なるべく負担なく継続していけるような支援が大切だと思います。</li> <li>・ 歯科口腔の状態とネグレクトとの関係性が高いため、情報把握に慎重にならざるを得ない。ただ、それだけに重要であり必要性の高い課題である。</li> </ul>

#### 4 利用者の歯や口腔の健康のため、専門職に望むこと（自由記載）

各施設において課題となることについて入所が3施設から3件、通所が24施設から27件、GHが3施設から3件の回答がありました。回答内容を分類した結果は下表のとおりです。

NO	項目	入所		通所		GH	
		件数	順位	件数	順位	件数	順位
1	口腔ケアについて	0	-	0	-	0	-
2	摂食嚥下について	1	1	1	4	0	-
3	情報提供・研修会について	0	-	9	2	1	1
4	在宅時からの支援について	0	-	0	-	0	-
5	連携について	0	-	0	-	0	-
6	歯科検診や受診について	1	1	12	1	1	1
7	その他	1	1	5	3	1	1
合計		3		27		3	

以下に主な意見を抜粋し、掲載しました。

<p>に 摂 食 嚥 下</p>	<p>入 所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に食事ができるような口腔体操等。</li> </ul>
<p>情報提供・研修会について</p>	<p>通 所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯みがきの必要性や、歯の大切さ、歯みがきの仕方を分かりやすく教える教室など開いて欲しい。</li> <li>・利用者のための歯みがき講座などを、ボランティアでお願いできればと思います。</li> <li>・発達障害のお子様は、じっとしていることが苦手だったり、仕上げみがきをさせてくれないお子様もいるため、お子様のむし歯予防の方法など教えてほしい。</li> <li>・事業所への訪問指導。(利用児に対する指導、保護者に対する指導) 当事業所の利用者である重症心身障害児は、口腔内の様々な問題を抱えているケースも多い。かかりつけ医がいない・定期的な受診をしていない場合、専門家の介入は学校での歯科検診のみでのフォローとなるが、家庭内での口腔ケアに関して保護者にアドバイスできる環境が整っていないことが多い。個人レベルで受診・相談になると移動の負担なども考えハードルが高いと感じてしまう方もおり、事業所にて専門家に指導を受けられる機会が提供できると喜ばれるご家庭は多いと思う。</li> </ul>
	<p>通 所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の口腔ケアの知識や技術向上のための講習会や出前講座等の開催。</li> <li>・歯みがき介助の方法や口腔ケアについての情報提供。</li> <li>・障害児歯科を積極的に取り組んでいる歯科医院の情報が欲しい。</li> <li>・コロナの影響で、歯医者などの医療機関を利用することを、控える保護者がいらっしやるので、定期的な声掛けをして頂くことが、必要になってくると思います。</li> <li>・摂食についてのアドバイスが欲しい。</li> </ul>
	<p>GH</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉課からのメールで情報共有なども、ありがたいです。</li> <li>・上記の専門職の方々からの、定期的な歯科検診などの案内があればありがたいと思いました。</li> </ul>
<p>歯科検診や受診について</p>	<p>入 所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な定期的な訪問指導を切に願います。また、行政にはその橋渡しを望みます。</li> </ul>
	<p>通 所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人や家庭の状況により、通院しにくい方がいらっしやるため訪問治療をしてくれる歯医者さんが増えるとよいと思います。</li> <li>・歯科検診や口腔ケアについて無料で訪問してほしい。</li> <li>・放課後デイサービス事業への定期的な訪問。(歯みがき指導等・各学校さんでおこなっているような歯科検診など)</li> <li>・定期通院をしていない利用者の方が多いので、定期的に歯科検診などお願いしたい。</li> <li>・本人が自発的に歯科受診しても、何をどう指導されたのか理解が不十分で、その後の口腔ケアに活かされていない。メモに書いて渡すなどしてもらい、支援者の声掛けにつながるようにして頂きたい。</li> <li>・障害者専門の歯科医が増えれば良い。麻酔をかけないと治療出来ない利用者さんもいるので、もっと専門の歯科を増やしてほしい。 ※自力で通院できないケースがあるので、往診してくれると良い。</li> <li>・障がいの種類や程度による制限がない受診環境の整備を望みます。基本的なことという、車いすでも受診しやすい作りになっていることは最低条件だと思いますが、行動障害のある人でも安心して受診できる環境が整えられるかは難しい課題であり、地域の現状としては不十分だと言えるでしょう。</li> <li>・緊急の対応の時に、対処してほしい。</li> </ul>
	<p>GH</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な訪問歯科診療。</li> </ul>

その他	入所	・障がいがあり対応が難しいとは思いますが、気を長く持ち、対応して頂けたらと思います。 (他の子と違い、1回で全てが出来るわけではないので。)
	通所	・障害を持った方への理解。歯科治療が苦手な方や、治療後に気になってしまう方など様々な方がいらっしゃるの、本人さんに合わせた治療をお願い出来ればと思います。 ・気軽に相談ができるシステムがあると良いです。利用者が聴覚障害者なので、手話ができる人がいると安心できます。 ・障がいの内容や程度、年齢、家族状況などが異なる中で、歯科受診を含め、障がいのあるお子さんとそのご家族が、歯と口腔の健康を保つことは容易なことではないと感じます。お住まいの近くに安心して受診できる歯科医院がある、相談ができる歯科医師や歯科衛生士などがいる、このことが、障がいのあるお子さんとそのご家族の歯と口腔の健康にとって大切ではないかと思います。
	GH	・障がい特性に応じた対応。

## 5 コロナ禍により、口腔ケア等について状況が変化した点、苦労している点等について (自由記載)

各施設において課題となることについて入所が2施設から2件、通所が17施設から17件、GHが1施設から1件の回答がありました。回答内容を分類した結果は下表のとおりです。

NO	項目	入所		通所		GH	
		件数	順位	件数	順位	件数	順位
1	感染予防について	1	1	10	1	1	1
2	防護用具の調達について	0	-	0	-	0	-
3	摂食嚥下について	0	-	1	4	0	-
4	情報提供・研修会について	0	-	0	-	0	-
5	歯科検診や受診について	0	-	2	3	0	-
6	職員の不安について	0	-	0	-	0	-
7	その他	1	1	4	2	0	-
合計		2		17		1	

以下に主な意見を抜粋し、掲載しました。

感染予防について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策を行いながらの口腔ケア。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策のために、現在昼食後の歯みがきを取り止めている。そのため、朝、晩の歯みがきを家庭で行って頂いているが、みがき残しがある等の口腔衛生が保たれていない状態の方が見られる。又、マスクを着用されている事や歯みがきの介助の機会が減っている分、口腔内の確認ができず、歯のぐらつきや抜けてしまう方が出てきている。</li> <li>・食後のブラッシングサポートの際に飛沫リスクを避けるため、少人数ずつ水道に誘導しサポートしているため、平時に比べ時間がかかってしまいます。また職員は手袋・マスク着用で行っている。</li> <li>・歯みがき介助の際の手洗いや手指消息の徹底、うがいをした際の水道シンクの消毒清掃など、飛沫感染防止対策に努めている。</li> <li>・以前は、知的の方に昼食後の歯みがきを実施していたが、感染等の関係で自粛している。感染予防に沿った歯みがきのマニュアル等があれば助かります。</li> </ul>
	GH	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯みがき介助中に咳込み、くしゃみ等による飛沫が以前より気になる。</li> </ul>
摂食嚥下について	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔体操の一環として、食事前に歌をうたっていましたが、コロナ禍でしばらく中止していたら、むせりが多くなってきたように感じています。そのため、マスクの徹底とパーテーションを立てるなどを対策して、曲数を減らして歌唱を再開しましたが、声が出なくなってしまったり、歌えなくなってしまっている人が増えています。唾液の量も減っている様子で口腔乾燥もみられています。</li> </ul>
歯科検診や受診について	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科検診、通院を控えているため口腔の健康状態の悪化が懸念される。</li> </ul>
	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から、歯医者受診は嫌がる利用者さんもいるので、コロナの感染を気にして余計に行けない人もいます。</li> <li>・県外や遠方の歯科を受診される方の定期通院が困難な状況にあります。突発的な受診を希望される時近くの歯科にスムーズに通院出来るような連携が整備されると助かります。</li> </ul>
その他	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時マスクを着用しているため口元への注意がおろそかになった。</li> <li>・口腔ケア以前の意思疎通の問題があり、そちらの苦勞？が先にくるので、ADLの一環として歯みがきというものをしっかりと覚えてもらうことを課題としてとらえている。</li> <li>・現在事業所内では歯みがきなど口腔ケア、外部専門家による指導などは実施していないためコロナ禍において変化した点は特にはないが、今後新たにこうした取り組みを始めるとい点では、感染予防も踏まえると積極的には考えられない。</li> </ul>

## IV 資料

## 「高齢者・障がい児者施設における歯科保健に関する実態調査」要領

### 1. 調査の目的

福島市歯と口腔の健康づくり推進基本方針の5「障がい者、介護を必要とする者等に対する適切な歯と口腔の健康づくりの確保及び推進のために必要な施策(条例第10条5号)」の評価にあたり、支援施設における歯科口腔の健康管理状況について実態を把握し、評価指標の設定、施策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 実施主体

福島市

### 3. 調査の対象施設

介護保険を利用する福島市指定事業所と福島市に住所のある障がい児者福祉施設のうち、下記のサービスを提供する施設を対象とする。

なお入所施設については、長期的な入所支援を行う施設とする。

	施設数		対象サービス種類
高齢者施設 217	138	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所介護</li> <li>・通所リハビリテーション</li> <li>・介護予防通所リハビリステーション</li> <li>・認知症対応型通所介護</li> <li>・介護予防認知症対応型通所介護</li> <li>・小規模多機能型居宅介護</li> <li>・介護予防小規模多機能型居宅介護</li> <li>・看護小規模多機能型居宅介護</li> <li>・地域密着型通所介護</li> <li>・第1号通所事業(予防通所介護相当サービス)</li> </ul>
	79	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定施設入居者生活介護</li> <li>・介護予防特定施設入居者生活介護</li> <li>・認知症対応型共同生活介護</li> <li>・介護予防認知症対応型共同生活介護</li> <li>・地域密着型介護老人福祉施設入所者介護</li> <li>・介護老人福祉施設</li> <li>・介護老人保健施設</li> </ul>
障がい児者施設 139	101	通所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護</li> <li>・自立訓練(生活訓練)</li> <li>・就労継続支援(A型)</li> <li>・就労継続支援(B型)</li> <li>・医療型発達支援センター</li> <li>・発達支援</li> <li>・放課後等デイ</li> </ul>
	38	入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設入所支援</li> <li>・共同生活援助</li> </ul>

※高齢者施設:長寿福祉課 福島市内指定事業所一覧令和3年1月1日現在より

障がい児者施設:障がい福祉課 障がい者施設、障がい児者施設 令和3年1月1日現在より



#### 4. 調査内容

施設における利用者の歯や口腔の健康管理の状況について

- ・歯科医療従事者との連携について
- ・歯みがきの実施状況について
- ・歯みがき以外の健康管理について
- ・歯科検診・歯科受診について

#### 5. 調査方法

アンケートによる調査を実施

#### 6. 調査票の送付・回収方法

施設あてに、郵送または電子メールにて依頼書と調査票を送付し、回答済の調査票を FAX または電子メールにて回収する。

回収率によっては、再度提出のお願いをする場合がある。

#### 7. 調査結果の取りまとめ及び活用

回収した調査票は事務局が集計し、令和4年度における基本方針の現状と課題の分析に活用する。  
なお、本市が設置する委員会にて内容を協議し、対象施設に情報提供する。

#### 8. スケジュール

令和3年2月	調査票の送付
2月下旬頃	調査票の回収
3月	集計・分析

# 高齢者・障がい児者施設における歯科保健に関する実態調査

事業所番号 \_\_\_\_\_

施設名： \_\_\_\_\_

回答者： \_\_\_\_\_

職種 \_\_\_\_\_

連絡先TEL： \_\_\_\_\_

貴施設についてお尋ねします。

## 1 利用者の人数についてお答えください

利用者総数 \_\_\_\_\_ 人（内訳：18歳未満 \_\_\_\_\_人 18歳以上65歳未満 \_\_\_\_\_人 65歳以上 \_\_\_\_\_人）

## 2 歯や口腔の健康管理に関する状況についてお答えください

### (1) 利用者の歯科検診や口腔ケア等についての歯科医療従事者（歯科医師・歯科衛生士）との連携について

※連携とは、利用者の歯や口腔の健康づくりについて契約・所属の有無に関わらず、相談ができる先がある事です。

- ア) 連携している : 該当する職種を選ぶ (複数回答可) →  歯科医師  歯科衛生士 → 2 (3) へお進みください
- イ) 過去に連携していたが、現在はしていない
- ウ) 今まで連携したことがない

### (2) (1) のイ、ウ) の連携をしていない理由を一つお答えください

- 連携する必要が感じられない又は、何を頼めばよいかわからない
- 費用が負担できない
- 連携できる歯科医療従事者が見つからない
- その他 ( \_\_\_\_\_ )
- 依頼先や相談先がわからない

### (3) 利用者の歯や口腔の管理状況についてお答えください

#### ① 利用者の歯や口腔の状態の把握時期について (複数回答可)

- 施設利用開始時  歯科検診の時  訴えのあった時
- 施設で実施する健康観察の観察項目の中に、口腔に関する項目がある → 回数をお答えください \_\_\_\_\_ 年・月・週・日 に \_\_\_\_\_ 回
- 把握していない ↑ 当てはまるものに○をつけてください。
- その他 ( \_\_\_\_\_ )

#### ② 施設内での歯みがきについて

- 実施していない → (3) ③へお進みください
- 実施している → ア)、イ) についてお答えください

ア) 1日の中で歯みがきを実施する時期をお答えください (複数回答可)

- 毎食後  就寝前  その他 ( \_\_\_\_\_ )

イ) 歯みがきの方法についてお答えください

- 全員に対し、職員が見守りを行っている  介助が必要な人には支援する  本人に任せている

#### ③ 歯みがき以外の歯や口腔の健康管理について現在実施していることについて (複数回答可)

- フッ化物(むし歯予防の薬)を利用したむし歯予防 (塗布、洗口等)  カンファレンスの実施
- 舌や粘膜など歯以外の口腔内ケア  歯や口腔の健康に関する研修の開催または参加
- 入れ歯の手入れ  その他 ( \_\_\_\_\_ )
- 歯科医師や歯科衛生士による指導や実践の導入  特に取り組んでいない
- 「お口のももりん体操」などの顔面体操、舌体操、だ液腺マッサージ、嚥下体操などの実施

④ 施設における歯科検診について

ア) 頻度について

- 年に1回以上     年に1回未満     実施していない

↳ (3) ⑤へお進みください

イ) 検診対象者について

対象者の選別基準についてお答えください

- 全員     全員ではない ( )

ウ) 検診方法について

- 歯科診療所を受診     訪問してもらうなど、施設内で実施

⑤ 利用者の歯科受診状況について

ア) かかりつけ歯科診療所を持つ人は何人いるか

持っている \_\_\_\_\_ 人    持っていない \_\_\_\_\_ 人    不明 \_\_\_\_\_ 人

↳ 内、福島市障がい者歯科診療所の利用者 \_\_\_\_\_ 人

イ) 受診方法について

・自分で(家族の介助を含む) \_\_\_\_\_ 人    職員の介助で \_\_\_\_\_ 人    往診、訪問診療を利用 \_\_\_\_\_ 人

・その他 ( )

(4) 利用者の歯や口腔の健康管理のため、今後強化したい、または取り入れたい活動をお答え下さい。(複数回答可)

- |                                                                    |                                                           |
|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 利用者への歯みがき指導や介助                            | <input type="checkbox"/> 利用者とその家族に向けた、自宅でも継続して歯と口腔の健康づくりに |
| <input type="checkbox"/> フッ化物(むし歯予防の薬)を利用したむし歯予防                   | 取組める情報の提供                                                 |
| <input type="checkbox"/> 定期的な歯科検診の実施                               | <input type="checkbox"/> 歯科衛生士など、専門職の採用                   |
| <input type="checkbox"/> 受診先や相談先の確保、連携強化                           | <input type="checkbox"/> その他 ( )                          |
| <input type="checkbox"/> 利用者の口腔内の状態に合わせた食事の提供                      | <input type="checkbox"/> 特になし                             |
| <input type="checkbox"/> 「お口のももりん体操」などの顔面体操、舌体操、だ液腺マッサージ、嚥下体操などの実施 |                                                           |
| <input type="checkbox"/> 職員の口腔ケアの知識や技術向上のための講習会等への出席、開催、出前講座等の利用   |                                                           |

3 貴施設において、歯科口腔保健を進めていく上で課題となることがあれば、ご記入ください。

4 利用者の歯や口腔の健康のため、地域の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士など専門職に望むことはありますか。

5 今般のコロナ禍により、貴施設が取り組む口腔ケア等について状況が変化した点、苦労している点等についてお聞かせください。

調査は以上になります。ご協力ありがとうございました。

## 「福島市歯と口腔の健康づくり推進委員会」委員名簿

【任期】令和3年7月28日から令和5年3月31日まで

No.	団体役職等		委員名	備考
1	奥羽大学	口腔衛生学講座 教授	廣瀬 公治	委員長
2	福島歯科医師会	公衆衛生委員会 委員長	渡邊 洋平	
3	福島県歯科衛生士会福島支部	支部長	猪股 由紀江	
4	福島薬剤師会	理事	鍛治内 大輔	
5	福島県言語聴覚士会 県北支部	理事	高田 衣恵	
6	福島県北地区障がい福祉連絡 協議会	役員	舟山 信悟	
7	福島産業看護協議会	福島キャノン 株式会社	穴戸 裕実	
8	全国健康保険協会 福島支部	保健グループ	土田 あゆみ	
9	福島地区小・中学校長会協議会	荒井小学校長	青柳 茂宏	副委員長
10	福島地区学校保健研究会	森合小学校 養護教諭	佐藤 あゆみ	
11	福島市小中学校PTA連合会	副会長	渡辺 真紀	
12	福島市老人クラブ連合会	会長	鈴木 泰雄	

### 【事務局】

1	健康福祉部	保健所 保健総務課
2		保健所 保健予防課
3		保健所 健康推進課
4		障がい福祉課
5		長寿福祉課

6	こども未来部	こども家庭課
7		幼稚園・保育課
8	福島市教育委員会	学校教育課

高齢者・障がい児者施設における  
歯科保健に関する実態調査報告書 2021

令和4年3月

福島市歯と口腔の健康づくり推進委員会

福島市保健所 健康推進課

〒960-8002

福島市森合町10番1号（保健福祉センター）

電話 024-597-8616

